

プログラム

【会長講演】

10月13日（土） 15時00分～16時00分（第1会場 札幌市教育文化会館 1F 大ホール）
座長：中村 重信（洛和会京都新薬開発支援センター顧問／広島大学名誉教授）

アルツハイマー病の論点—基礎と臨床の観点から—

下濱 俊

札幌医科大学医学部神経内科学講座

【特別講演】

特別講演 1（同時通訳あり）

10月12日（金） 8時50分～9時40分（第1会場 札幌市教育文化会館 1F 大ホール）
座長：下濱 俊（札幌医科大学医学部神経内科学講座）

Reimagining dementia : neuroreflections on past, present, and future

Peter J. Whitehouse

Transdisciplinary Professor, Case Western Reserve University and University of Toronto

特別講演 2（同時通訳あり）

10月13日（土） 9時10分～10時00分（第1会場 札幌市教育文化会館 1F 大ホール）
座長：下濱 俊（札幌医科大学医学部神経内科学講座）

Understanding Alzheimer's as a Disease of Chronic Oxidative Stress

George Perry

Dean and Professor, Semmes Foundation Distinguished University Chair in Neurobiology College of Sciences,
The University of Texas at San Antonio, San Antonio, TX

【プレナリーレクチャー】

プレナリーレクチャー 1

10月12日（金） 8時50分～9時40分（第2会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホール A）
座長：森 啓（大阪市立大学大学院医学研究科脳血管内治療・頭蓋底外科病態学）

アルツハイマー病研究の進歩

西道 隆臣

理化学研究所脳神経科学センター

プレナリーレクチャー 2

10月12日（金） 8時50分～9時40分 （第3会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホール BC）

座長：辻 省次（国際医療福祉大学大学院・医学部／東京大学大学院医学系研究科分子神経学）

認知症の予防の現状と展望

玉岡 晃

筑波大学医学医療系神経内科学

プレナリーレクチャー 3

10月12日（金） 8時50分～9時40分 （第4会場 ロイトン札幌 2F エンプレスホール）

座長：岩田 誠（メディカルクリニック柿の木坂）

アルツハイマー病治療薬開発の現状と展望

岩坪 威

東京大学大学院医学系研究科神経病理学

プレナリーレクチャー 4

10月12日（金） 8時50分～9時40分 （第5会場 ロイトン札幌 2F リージェントホール）

座長：武田 雅俊（大阪河崎リハビリテーション大学認知予備力研究センター）

BPSD への対応はいかにすべきか—診療ガイドラインを越えて

新井 平伊

順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学

プレナリーレクチャー 5

10月12日（金） 8時50分～9時40分 （第6会場 ロイトン札幌 2F ハイネスホール）

座長：繁田 雅弘（東京慈恵会医科大学精神医学講座）

医療・ケア現場が目指すべき道—次世代に向けて必要なこと—

藤本 直規

医療法人藤本クリニック／連携型認知症疾患医療センター

プレナリーレクチャー 6

10月13日（土） 9時10分～10時00分 （第2会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホール A）

座長：本間 昭（お多福もの忘れクリニック）

認知症の理解と克服に向けて

荒井 啓行

東北大学加齢医学研究所老年医学分野

プレナリーレクチャー 7

10月13日(土) 9時10分～10時00分 (第3会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホール BC)

座長: 秋山 治彦 (横浜市立脳卒中・神経脊椎センター臨床研究部)

わが国における認知症対策の現状と課題

福田 祐典

厚生労働省健康局

プレナリーレクチャー 8

10月13日(土) 9時10分～10時00分 (第4会場 ロイトン札幌 2F エンプレスホール)

座長: 秋口 一郎 (医療法人財団康生会武田病院神経脳血管センター (神経内科))

脳小血管病と認知症の関連について; Update

富本 秀和

三重大学医学研究科神経病態内科学

プレナリーレクチャー 9

10月13日(土) 9時10分～10時00分 (第5会場 ロイトン札幌 2F リージェントホール)

座長: 福山 秀直 (京都大学学際融合教育研究推進センター健康長寿社会の総合医療開発ユニット)

認知症の MRI 診断の現状と展望

松田 博史

国立精神・神経医療研究センター脳病態統合イメージングセンター

プレナリーレクチャー 10

10月13日(土) 9時10分～10時00分 (第6会場 ロイトン札幌 2F ハイネスホール)

座長: 田平 武 (順天堂大学大学院医学研究科認知症診断・予防・治療学講座)

認知症臨床研究の動向と展望

東海林幹夫

弘前大学大学院医学研究科脳神経内科学

プレナリーレクチャー 11

10月14日(日) 9時00分～9時50分 (第2会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホール A)

座長: 下濱 俊 (札幌医科大学医学部神経内科学講座)

Recent progress in microglia and exosome pathway as novel therapeutic targets of Alzheimer's disease

Tsuneya Ikezu

Boston University School of Medicine, Boston, Massachusetts, United States

プレナリーレクチャー 12

10月14日（日） 9時00分～9時50分 （第3会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホール BC）
座長：内海久美子（砂川市立病院認知症疾患医療センター）

認知症者の終末期医療をどう考えるか

会田 薫子

東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座

プレナリーレクチャー 13

10月14日（日） 9時00分～9時50分 （第4会場 ロイトン札幌 2F エンプレスホール）
座長：貫名 信行（同志社大学大学院脳科学研究科認知記憶加齢部門）

認知症の神経病理

村山 繁雄

東京都健康長寿医療センター神経内科・高齢者ブレインバンク（神経病理）

プレナリーレクチャー 14

10月14日（日） 9時00分～9時50分 （第5会場 ロイトン札幌 2F リージェントホール）
座長：大内 尉義（国家公務員共済組合連合会虎の門病院）

糖尿病と認知症

羽生 春夫

東京医科大学医学部高齢総合医学分野

プレナリーレクチャー 15

10月14日（日） 9時00分～9時50分 （第6会場 ロイトン札幌 2F ハイネスホール）
座長：岡澤 均（東京医科歯科大学神経病理学分野）

PSP と CBD : an update

下畑 享良

岐阜大学大学院医学系研究科神経内科・老年学分野

【学術教育講演】

学術教育講演 1

10月12日（金） 9時00分～9時50分 （第7会場 札幌市教育文化会館 1F 小ホール）
座長：中島 健二（独立行政法人国立病院機構松江医療センター）

総論：認知症，軽度認知障害，プレクリニカルステージの概念

和田 健二

鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野

学術教育講演 2

10月12日（金） 10時00分～10時50分（第7会場 札幌市教育文化会館 1F 小ホール）
座長：相澤 仁志（東京医科大学脳神経内科）

認知症の原因と鑑別診断

松川 則之

名古屋市立大学医学部神経内科学

学術教育講演 3

10月12日（金） 11時00分～11時50分（第7会場 札幌市教育文化会館 1F 小ホール）
座長：大八木保政（愛媛大学大学院医学系研究科老年・神経・総合診療内科学）

認知症の治療・介護総論：重症度と重症度別対応

小田原俊成

横浜市立大学保健管理センター

学術教育講演 4

10月12日（金） 13時30分～14時20分（第7会場 札幌市教育文化会館 1F 小ホール）
座長：阿部 康二（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経内科学）

アルツハイマー型認知症

松原 悦朗

大分大学医学部医学科神経内科学講座

学術教育講演 5

10月12日（金） 14時30分～15時20分（第7会場 札幌市教育文化会館 1F 小ホール）
座長：望月 秀樹（大阪大学大学院医学系研究科神経内科学）

レビー小体型認知症と認知症を伴うパーキンソン病

本井ゆみ子

順天堂大学大学院認知症・診断・予防治療学講座

学術教育講演 6

10月12日（金） 15時30分～16時20分（第7会場 札幌市教育文化会館 1F 小ホール）
座長：中野 倫仁（北海道医療大学心理科学部）

諸制度を活用して認知症患者を地域で見守る

和泉 唯信

徳島大学病院神経内科

学術教育講演 7

10月13日(土) 9時10分～10時00分 (第7会場 札幌市教育文化会館 1F 小ホール)

座長: 岡本 幸市 (公益財団法人老年病研究所附属病院神経内科)

進行性核上性麻痺, 大脳皮質基底核変性症

池田 佳生

群馬大学大学院医学系研究科脳神経内科学

学術教育講演 8

10月13日(土) 10時20分～11時10分 (第7会場 札幌市教育文化会館 1F 小ホール)

座長: 鈴木 則宏 (湘南慶育病院)

嗜銀顆粒性認知症, 神経原線維変化型老年期認知症一次世代タウ PET プローブの可能性—

伊東 大介

慶應義塾大学医学部神経内科

学術教育講演 9

10月13日(土) 11時20分～12時10分 (第7会場 札幌市教育文化会館 1F 小ホール)

座長: 鈴木 匡子 (東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学)

前頭側頭葉変性症

新井 哲明

筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

学術教育講演 10

10月13日(土) 16時20分～17時10分 (第7会場 札幌市教育文化会館 1F 小ホール)

座長: 柿田 明美 (新潟大学脳研究所病理学)

成人白質変化と認知症 遺伝性成人白質脳症の知見から

小野寺 理

新潟大学脳研究所神経内科

学術教育講演 11

10月13日(土) 17時20分～18時10分 (第7会場 札幌市教育文化会館 1F 小ホール)

座長: 福井 俊哉 (医療法人花咲会かわさき記念病院)

感染症と認知症

原 英夫

佐賀大学医学部神経内科

学術教育講演 12

10月14日（日） 9時00分～9時50分（第7会場 札幌市教育文化会館 1F 小ホール）

座長：山崎 峰雄（日本医科大学千葉北総病院神経内科）

血管性認知症を取り巻く問題と展望

寺山 靖夫

岩手医科大学内科学講座神経内科・老年科分野

学術教育講演 13

10月14日（日） 10時00分～10時50分（第7会場 札幌市教育文化会館 1F 小ホール）

座長：古川 勝敏（東北医科薬科大学医学部地域医療学）

内科的疾患に伴う認知症

小野賢二郎

昭和大学医学部脳神経内科

学術教育講演 14

10月14日（日） 11時10分～12時00分（第7会場 札幌市教育文化会館 1F 小ホール）

座長：浦上 克哉（鳥取大学医学部生体制御学浦上研究室）

認知症の危険因子・防御因子

道川 誠

名古屋市立大学大学院医学研究科病態生化学

【シンポジウム】

シンポジウム 1 認知症高齢者と運転免許をめぐる諸問題—検診命令のもとで診察の現実—

10月12日（金） 10時00分～12時00分（第1会場 札幌市教育文化会館 1F 大ホール）

座長：池田 学（大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室）

内海久美子（砂川市立病院認知症疾患医療センター）

1. 総論（道路交通法の改正後の状況）

大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室 池田 学

2. 運転免許制度改正の現状と問題点

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 三村 将

3. 認知症高齢者と運転免許をめぐる諸問題—検診命令と地方大学での経験から

高知大学医学部附属病院精神科 上村 直人

4. 医師の診断と法的責任

コブエ法律事務所 古笛 恵子

シンポジウム 2 認知症と再生医療

10月12日（金） 10時00分～12時00分（第2会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホール A）

座長：井上 治久（京都大学 iPS 細胞研究所増殖分化機構研究部門/理化学研究所）

遠山 育夫（滋賀医科大学神経難病研究センター）

1. 間葉系幹細胞によるアルツハイマー病の治療；モデルマウスでの検討を通じて
札幌医科大学医学部神経内科学講座 横川 和樹
2. アルツハイマー病患者の神経細胞を用いた化合物スクリーニングと “in vitro trial”
京都大学 iPS 細胞研究所 近藤 孝之
3. 幹細胞由来ミクログリア様細胞を用いた認知症細胞治療戦略
京都薬科大学統合薬科学系 高田 和幸
4. 幹細胞老化における microRNA の役割と組織恒常性の回復
滋賀医科大学解剖学講座神経形態学部門 金田 勇人

シンポジウム 3 認知症の非薬物療法とその EBM

10月12日（金） 10時00分～12時00分（第3会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホール BC）

座長：朝田 隆（東京医科歯科大学脳統合機能研究センター）

山口 晴保（認知症介護研究・研修東京センター）

1. 認知症予防・非薬物療法としての運動療法
東京医科歯科大学脳統合機能研究センター 朝田 隆
2. BPSD に対する非薬物療法
熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学分野 橋本 衛
3. 認知症に対する介護と医療におけるリハビリテーション
国立長寿医療研究センターリハビリテーション科 大沢 愛子
4. 家族・介護者のエンパワメントが認知症の経過を変える
新潟医療福祉大学大学院医療福祉学研究科保健学専攻言語聴覚学分野 今村 徹

シンポジウム 4 アミロイド β の生理・病態を踏まえた認知症治療戦略

10月12日（金） 10時00分～12時00分（第4会場 ロイトン札幌 2F エンプレスホール）

座長：西村 正樹（滋賀医科大学神経難病研究センター分子神経病理学）

鈴木 利治（北海道大学大学院薬学研究院神経科学）

1. セクレターゼ活性阻害を介さない Aβ 産生抑制によるリスク制御への挑戦
滋賀医科大学神経難病研究センター分子神経病理学 西村 正樹
2. Aβ 毒性から神経を保護する p3-AIcβ を用いたアルツハイマー病治療戦略
北海道大学大学院薬学研究院神経科学 鈴木 利治

3. アミロイドβ病理とタウ病理の相互作用について

理化学研究所脳神経科学センター 西道 隆臣

4. アストロサイト由来 Aβ 分解酵素 KLK7 を創薬標的としたアルツハイマー病治療薬創出

東京大学大学院薬学系研究科機能病態学教室 富田 泰輔

5. 血液脳関門通過型抗 Aβ オリゴマー抗体を用いたアルツハイマー病の診断・治療法の開発

東京医科歯科大学大学院脳神経病態学分野（神経内科） 横田 隆徳

シンポジウム 5 BPSD と多職種連携

10月12日（金） 10時00分～12時00分（第5会場 ロイトン札幌 2F リージェントホール）

座長：水上 勝義（筑波大学大学院人間総合科学研究科）

栗田 主一（東京都健康長寿医療センター研究所）

1. パーソンセンタードケアと問題解決療法を理論的枠組とする多職種協働による支援モデル

東京都健康長寿医療センター研究所 栗田 主一

2. 在宅医療における BPSD の介入～多職種協働連携によるアプローチ～

医療法人社団みのり会湘南いなほクリニック 内門 大丈

3. BPSD における多職種連携—精神科病院の役割—

日本精神科病院協会理事医療法人静風会大垣病院 田口 真源

4. BPSD と多職種連携— AI Nursing の可能性を視野に入れて—

千葉大学大学院看護学研究科 諏訪さゆり

シンポジウム 6 認知症カフェ 20 年～それぞれの立場から

10月12日（金） 10時00分～12時00分（第6会場 ロイトン札幌 2F ハイネスホール）

座長：矢吹 知之（社会福祉法人東北福祉会認知症介護研究・研修仙台センター）

武地 一（藤田保健衛生大学医学部認知症・高齢診療科）

1. もの忘れカフェを中心とした取り組み 20年目を迎えるにあたってのまとめから

医療法人藤本クリニック 奥村 典子

2. 認知症カフェはどう地域に根をはるのか～作業療法士の立場から～

佛教大学保健医療技術学部作業療学科 荻山 和生

3. 認知症カフェのあり方を考える —静岡県浜松市の現状と実施体験から—

（株）浜松人間科学研究所 奥山恵理子

4. オレンジカフェ由布から始まる認知症と共に歩む旅のスタート

介護老人保健施設健寿荘 増井 玲子

シンポジウム 7 認知症の神経心理学

10月12日（金） 13時30分～15時30分（第1会場 札幌市教育文化会館 1F 大ホール）

座長：三村 将（慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室）

石合 純夫（札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座）

1. 言語の機能解剖学を踏まえた認知症の失語症候学

清山会いずみの杜診療所 松田 実

2. 行為・動作とその障害

北海道医療大学リハビリテーション科学部 中川 賀嗣

3. 視覚性認知とその障害（地誌的障害を含む）

山形県立保健医療大学作業療法学科 平山 和美

4. 空間性注意とその障害

札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座 石合 純夫

シンポジウム 8 脳の自浄システムとしてのアストロサイトと glymphatic システム

10月12日（金） 13時30分～15時30分（第2会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホール A）

座長：樋口 真人（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
脳機能イメージング研究部）

富田 泰輔（東京大学大学院薬学系研究科機能病態学教室）

1. Glymphatic system 仮説と MRI

名古屋大学大学院医学系研究科量子医学分野 長縄 慎二

2. 脳のリンパ排泄におけるアクアポリン 4 の役割とアルツハイマー病の病態生理

慶應義塾大学医学部薬理学教室 安井 正人

3. 神経脳小血管単位による排泄機構と疾病との関連

新潟大学神経内科 小野寺 理

4. タウと α シヌクレインに対する自浄システムとしての脳内リンパ系の生体イメージング

量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所脳機能イメージング研究部 田桑 弘之

シンポジウム 9 認知症の危険因子と防御因子を考える

10月12日（金） 13時30分～15時30分（第3会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホール BC）

座長：池内 健（新潟大学脳研究所附属生命科学リソース研究センターバイオリソー
ス研究部門遺伝子機能解析学分野）

岩田 淳（東京大学医学部附属病院神経内科）

1. アルツハイマー病の原因遺伝子と感受性遺伝子：我々の取り組みと国内外の最新情報

新潟大学脳研究所遺伝子機能解析学分野 宮下 哲典

2. Risk and protective factors for dementia in a community : the Hisayama Study

九州大学大学院医学研究院精神病態医学 小原 知之

3. 百寿者に学ぶ認知症の防御因子

慶應義塾大学医学部百寿総合研究センター 新井 康通

4. 生活習慣からみた認知症の危険因子と防御因子

国立長寿医療研究センター老年学社会科学研究センター予防老年学研究部 島田 裕之

シンポジウム 10 アミロイド β をターゲットにした疾患修飾薬の臨床治験の最新情報と将来展望（同時通訳あり）

10月12日（金） 13時30分～16時00分（第4会場 ロイトン札幌 2F エンプレスホール）

座長：下濱 俊（札幌医科大学医学部神経内科学講座）

岩坪 威（東京大学大学院医学系研究科神経病理学分野）

1. Factors Important to the Development of New Alzheimer's Disease Therapies

Biogen Inc. Samantha Budd Haeberlein

2. First step toward disease modification in AD-targeting beta amyloid and tau proteinopathies

Global Head of Neurodegeneration and AD Franchise Head PD Neuroscience F. Hoffmann-La Roche Ltd.
Rachelle S. Doody

3. BACE1 Inhibitor CNP520 in the Alzheimer Prevention Initiative (API) Generation Program

Global Program Head, Neuroscience, Novartis Pharma AG Ana Graf

4. The role of amyloid and tau PET imaging in therapeutic clinical trials for Alzheimer's Disease

Vice President of Imaging, Avid Radiopharmaceuticals (a wholly owned subsidiary of Eli Lilly)
Michael D. Devous

5. Clinical Development for Early Alzheimer's Disease Based on the Amyloid Hypothesis

Neurology Business Group, Eisai Inc., Wood Cliff Lake, NJ, USA Johan Luthman

6. Clinical Studies in Asymptomatic Subjects at High Risk for Alzheimer's Disease (AD)

Janssen Research and Development, Fremont, California, USA John Thippawong

シンポジウム 11 誤認されやすい認知症と高齢発症てんかん

10月12日（金） 13時30分～15時30分（第5会場 ロイトン札幌 2F リージェントホール）

座長：赤松 直樹（国際医療福祉大学医学部神経内科/福岡山王病院脳神経機能センター）

伊藤ますみ（上善神経医院）

1. 高齢者のてんかん

国際医療福祉大学医学部神経内科/福岡山王病院脳神経機能センター 赤松 直樹

2. ビデオ脳波モニタリングから見る高齢発症てんかん、その発作の特徴

TMG あさか医療センター 久保田有一

3. 認知症と高齢発症てんかん診療の実際—精神科より

北海道大学大学院医学院神経病態学講座精神医学教室 堀之内 徹

4. アルツハイマー病とてんかんの病態に関する最新知見

京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座臨床神経学 葛谷 聡

シンポジウム 12 認知症の人と家族を支える医療とケア

10月12日(金) 13時30分～15時30分 (第6会場 ロイトン札幌 2F ハイネスホール)

座長: 遠藤 英俊(国立研究開発法人国立長寿医療研究センター長寿医療研修センター)

大西 丈二(名古屋大学医学部附属病院老年内科)

1. 認知症をとりまく医療と地域連携システム

国立長寿医療研究センター 武田 章敬

2. 認知症初期集中支援チームの役割と有用性

国立長寿医療研究センター 鷺見 幸彦

3. 認知症の人と家族への在宅緩和ケア

医療法人理智会たなか往診クリニック 田中 誠

4. 身体拘束ゼロの病院が認知症の人を地域で支える～大誠会スタイルによる認知症ケア～

医療法人大誠会内田病院 田中 志子

シンポジウム 13 ミクログリアの生理・病態を踏まえた認知症治療戦略

10月13日(土) 10時20分～12時20分 (第1会場 札幌市教育文化会館 1F 大ホール)

座長: 秋山 治彦(横浜市立脳卒中・神経脊椎センター臨床研究部)

下濱 俊(札幌医科大学医学部神経内科学講座)

1. ミクログリアの生理機能とその破綻による疾患の可能性

神戸大学大学院医学研究科システム生理学分野 和氣 弘明

2. ミクログリアによるAβクリアランスを標的とした治療戦略

札幌医科大学神経内科学講座 岩原 直敏

3. 炎症から神経を保護するグリア細胞と認知症の治療戦略

理化学研究所生命機能科学研究センター 片岡 洋祐

4. APOE and TREM2 as key microglial molecules for neurodegenerative phenotypes in Alzheimer's disease

Boston University School of Medicine, Boston, Massachusetts, United States Tsuneya Ikezu

シンポジウム 14 若年認知症本人や家族が望むものは何か?

10月13日(土) 10時20分～12時20分 (第2会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホール A)

座長: 宮永 和夫(南魚沼市立ゆきぐに大和病院)

干場 功(若年認知症家族会「空知ひまわり」)

1. 若年認知症の概要

南魚沼市立ゆきぐに大和病院 宮永 和夫

2. 若年認知症本人や家族が望むものは何か？

全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会 竹内 弘道

3. 病気と向き合って生きる

特定非営利活動法人 D カフェまちづくりネットワーク 西野 充

4. 前頭葉側頭葉変性症の人の家族が願うこと

NPO 法人北海道若年認知症の人と家族の会 平野 雅宣

シンポジウム 15 認知症の医療・介護：地域の輪を支える ICT システム

10 月 13 日（土） 10 時 20 分～12 時 20 分（第 3 会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホール BC）

座長：山口 修平（島根大学医学部内科学講座内科学第三）

吉澤 利弘（NTT 東日本関東病院脳神経内科）

1. ICT を活用した認知症地域包括システムの実用化の試み

NTT 東日本関東病院脳神経内科 吉澤 利弘

2. 遠隔医療や機械学習を活用した認知症診療の展望

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 岸本泰士郎

3. マスクリーニングツール Cognitive Assessment for Dementia, iPad version 2（CADi2）

島根大学学術研究院医学・看護学 小野田慶一

4. ビッグデータと人工知能技術による診療支援システム

東京大学大学院医学系研究科医療情報学分野 大江 和彦

シンポジウム 16 超高齢社会の血管性認知症

10 月 13 日（土） 10 時 20 分～12 時 20 分（第 4 会場 ロイトン札幌 2F エンプレスホール）

座長：葛原 茂樹（鈴鹿医療科学大学看護学部）

宇高不可思（住友病院神経内科）

1. 超高齢社会の血管性認知症：オーバービュー

住友病院神経内科 宇高不可思

2. 血管性認知症の診断と病態

三重大学大学院医学系研究科神経病態内科学 新堂 晃大

3. 血管性認知症の予防・薬物療法

横浜総合病院神経内科 長田 乾

4. 血管性認知症の治療への手がかり～非薬物療法の可能性～

英国ニューカッスル大学神経科学研究所脳血管研究グループ 長谷 佳樹

シンポジウム 17 重複記憶錯誤：認知症の精神症状を神経心理学と精神病理学から考える

10月13日（土） 10時20分～12時20分（第5会場 ロイトン札幌 2F リージェントホール）

座長：村井 俊哉（京都大学大学院医学研究科精神医学）

数井 裕光（高知大学教育研究部医療学系臨床医学部門）

1. 重複記憶錯誤は作話か妄想か？ 神経学と精神医学の交点
京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学教室 植野 仙経
2. 重複症状の対象の多様性：人物以外の重複現象は？
北海道医療大学リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科 高倉 祐樹
3. 重複記憶錯誤の責任病巣：神経心理学的理解は可能か？
兵庫県立リハビリテーション西播磨病院認知症疾患医療センター 檜林 哲雄
4. 記憶錯誤の症候学 精神病理学の立場から
京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学教室 三嶋 亮

シンポジウム 18 口腔－腸内細菌叢と認知症

10月13日（土） 10時20分～12時20分（第6会場 ロイトン札幌 2F ハイネスホール）

座長：猪原 匡史（国立循環器病研究センター脳神経内科）

丸山 博文（広島大学大学院医歯薬保健学研究科脳神経内科学）

1. 腸内環境と中枢神経炎症
順天堂大学医学部免疫学 三宅 幸子
2. 認知症と脳血管障害と Cnm 陽性 Streptococcus mutans
国立循環器病研究センター脳神経内科 齊藤 聡
3. 歯周病菌感染症は認知症に影響する？
広島大学大学院脳神経内科学 細見 直永
4. アルツハイマー病と腸内細菌叢
岡山大学大学院環境生命科学研究科 森田 英利

シンポジウム 19 画像診断の progress と pitfall

10月13日（土） 16時20分～18時20分（第2会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホール A）

座長：加藤 隆司（国立長寿医療研究センター放射線診療部）

石井 賢二（東京都健康長寿医療センター神経画像研究チーム）

1. 認知症画像診断の progress と pitfall：MRI
東京都健康長寿医療センター放射線診断科 徳丸 阿耶
2. 脳血流 SPECT の認知症診断における役割と課題
国立長寿医療研究センター放射線診療部 加藤 隆司

3. MIBG 心筋シンチについて

独立行政法人国立病院機構北陸病院 吉田 光宏

4. DAT イメージングを用いたパーキンソニズムの診断

順天堂大学医学部脳神経内科 波田野 琢

シンポジウム 20 認知症疾患医療センターにおける地域ネットと専門職の役割について

10月13日（土） 16時20分～18時20分（第3会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホールBC）

座長：栗田 主一（東京都健康長寿医療センター研究所）

高丸 勇司（小樽市立病院認知症疾患医療センター）

1. 地域ネットにおける精神科開業医の役割：本人・家族・スタッフのサポート

入間平井クリニック 平井 茂夫

2. 介護支援専門員の現状と認知症疾患医療センターへ期待する役割

船橋市三山・田喜野井地域包括支援センター 助川未枝保

3. 精神保健福祉士の立場から

砂川市立病院認知症疾患医療センター 大辻 誠司

4. 認知症臨床における心理職の役割

公益財団法人西熊谷病院埼玉県認知症疾患医療センター 原 祐子

シンポジウム 21 睡眠・生体リズムと認知症

10月13日（土） 16時20分～18時20分（第4会場 ロイトン札幌 2F エンプレスホール）

座長：永井 義隆（大阪大学大学院医学系研究科神経難病認知症探索治療学寄附講座）

木下 彩栄（京都大学大学院医学研究科在宅医療看護学分野）

1. 認知症における睡眠構築の破綻とその作用

筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構（WPI-IIS） 林 悠

2. 「睡眠の質の低下」と認知症

国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第四部 皆川 栄子

3. 認知症モデルショウジョウバエを用いた分子機構と創薬

国際科学振興財団時間生物学研究所 石田直理雄

4. 睡眠覚醒におけるカルシウム依存的過分極機構の役割

東京大学大学院医学系研究科 上田 泰己

シンポジウム 22 タウの生理・病態を踏まえた認知症治療戦略

10月14日（日） 10時00分～12時00分（第2会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホール A）

座長：長谷川成人（公益財団法人東京都医学総合研究所認知症・高次脳機能研究分野）

高島 明彦（学習院大学理学部生命科学科）

1. タウを用いたアルツハイマー病の血液診断と病態仮説の再考

京都府立医科大学分子脳病態解析学 徳田 隆彦

2. 認知症疾患のタウ病理とイメージング

量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所 小野麻衣子

3. タウの伝播動物モデル

東京都医学総合研究所認知症・高次脳機能研究分野認知症プロジェクト 細川 雅人

4. タウ脳内進展過程を標的とする診断・治療法の開発

大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学寄附講座 武田 朱公

シンポジウム 23 認知症の人への人権侵害はなぜ見逃されるのか—非同意のもとでの医療の現実—

10月14日（日） 10時00分～12時00分（第3会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホール BC）

座長：齋藤 正彦（東京都立松沢病院）

深津 亮（公益財団法人西熊谷病院埼玉県認知症疾患医療センター）

1. 認知症患者の医療同意について

早稲田大学法学学術院 岩志和一郎

2. 精神科医の立場から—主体性の回復ということ—

東京都立松沢病院精神科 井藤 佳恵

3. 認知症高齢者の救急受診の現状と課題

東京都立松沢病院一般科 檜山 鉄矢

4. メディアから見た認知症の課題

読売新聞東京本社編集委員 猪熊 律子

シンポジウム 24 核酸の恒常性維持と神経変性

10月14日（日） 10時00分～12時00分（第4会場 ロイトン札幌 2F エンプレスホール）

座長：岩田 淳（東京大学医学部附属病院神経内科）

大河内正康（大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室）

1. アルツハイマー病における神経細胞ゲノム DNA の恒常性

東京大学医学部附属病院神経内科 間野 達雄

2. TDP-43 ノックインマウスにおける神経変性病態

大阪大学大学院医学系研究科 河原 行郎

3. RNA 代謝異常が引き起こす神経変性疾患の発症機構解明へ向けて

名古屋市立大学薬学部病態生化学分野 築地 仁美

4. ノンコーディングリピート病における RNA 凝集, RAN 翻訳と神経変性メカニズム

大阪大学大学院医学系研究科神経難病認知症探索治療学 永井 義隆

シンポジウム 25 前頭側頭葉変性症の診断からケアまで～高齢発症例も含めて～

10 月 14 日 (日) 10 時 00 分～12 時 00 分 (第 6 会場 ロイトン札幌 2F ハイネスホール)

座長: 川勝 忍 (福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座)

池田 学 (大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室)

1. 行動型前頭側頭型認知症の症候と鑑別診断

東京慈恵会医科大学精神医学講座 品川俊一郎

2. 意味性認知症の症候と鑑別診断

福島医大会津医療センター精神医学講座 川勝 忍

3. 前頭側頭葉変性症の臨床病理

きのこエスポアル病院精神科 横田 修

4. 疾患特性を利用した前頭側頭葉変性症のケア

公益財団法人浅香山病院精神科 繁信 和恵

シンポジウム 26 Suspected non-Alzheimer disease pathophysiology (SNAP) の最新知見

10 月 14 日 (日) 13 時 30 分～15 時 30 分 (第 2 会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホール A)

座長: 齊藤 祐子 (国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部)

山田 正仁 (金沢大学大学院脳老化・神経病態学 (神経内科学))

1. Primary age-related tauopathy (PART) の病理像

愛知医科大学加齢医科学研究所 吉田 真理

2. Argyrophilic grain disease

国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部 齊藤 祐子

3. Cerebral age-related TDP-43 pathology and arteriolosclerosis (CARTS)

埼玉医科大学国際医療センター脳神経内科・脳卒中内科 高尾 昌樹

4. SNAP の PET 所見

東京都健康長寿医療センター研究所神経画像 石井 賢二

シンポジウム 27 レビー小体型認知症 クリニカル・プラクティス

10月14日（日） 13時30分～15時30分（第3会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホールBC）

座長：服部 信孝（順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経内科）

長濱 康弘（医療法人花咲会かわさき記念病院）

1. DLBの新しい診断基準について

独立行政法人国立病院機構北陸病院 吉田 光宏

2. DLBの前駆期を含む臨床症候と早期診断

医療法人花咲会かわさき記念病院 藤城 弘樹

3. DLB臨床診断のpitfall

東京都立松沢病院 西尾 慶之

4. DLBの実践的治療戦略

医療法人花咲会かわさき記念病院 長濱 康弘

シンポジウム 28 認知症に対する核酸医薬の基礎と臨床

10月14日（日） 13時30分～15時30分（第4会場 ロイトン札幌 2F エンプレスホール）

座長：横田 隆徳（東京医科歯科大学大学院脳神経病態学分野（神経内科））

高橋 良輔（京都大学大学院医学研究科臨床神経学（神経内科））

1. 核酸医薬総論とヘテロ核酸

東京医科歯科大学大学院脳神経病態学分野（神経内科） 横田 隆徳

2. 核酸医薬の基礎と配列設計の実例

大阪大学薬学研究科 小比賀 聡

3. mRNA医薬を用いた脳神経疾患治療

東京医科歯科大学学生体材料工学研究所生体材料機能医学分野 位高 啓史

4. 神経・筋疾患の中枢神経症状に対する核酸医薬開発

国立精神・神経医療研究センター神経研究所遺伝子疾患治療研究部 青木 吉嗣

シンポジウム 29 フレイルと認知症

10月14日（日） 13時30分～15時30分（第5会場 ロイトン札幌 2F リージェントホール）

座長：葛谷 雅文（名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学・老年科学）

神崎 恒一（杏林大学医学部高齢医学）

1. フレイルの概念

名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学・老年科学 葛谷 雅文

2. 認知機能障害と身体的フレイル

杏林大学医学部高齢医学 神崎 恒一

3. 新しい概念 コグニティブ・フレイルとは

国立長寿医療研究センターもの忘れセンター 櫻井 孝

4. フレイルに関わる生化学・内分泌学的要因

東京大学大学院医学系研究科加齢医学 小川 純人

シンポジウム 30 認知機能障害と脳神経外科診療

10月14日（日） 13時30分～15時30分（第6会場 ロイトン札幌 2F ハイネスホール）

座長：丹羽 潤（医療法人社団明日佳札幌宮の沢脳神経外科病院脳神経外科）

徳田 禎久（社会医療法人禎心会札幌禎心会病院脳神経外科）

1. 脳神経外科診療でよく遭遇する treatable dementia：正常圧水頭症の診断と治療の難しさ

日本赤十字社北見赤十字病院脳卒中センター脳神経外科 木村 輝雄

2. 認知機能障害を契機とした脳腫瘍について

札幌医科大学医学部脳神経外科 鰐淵 昌彦

3. 頸部内頸動脈狭窄症に対する血行再建術後の認知機能変化と脳循環

岩手医科大学医学部脳神経外科 小笠原邦昭

【ホットトピック徹底討論】

老化研究を通して認知症克服への道を模索する

10月14日（日） 10時00分～12時00分（第5会場 ロイトン札幌 2F リージェントホール）

座長：岩田 修永（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科ゲノム創薬学研究室）

富山 貴美（大阪市立大学大学院医学研究科老年医科学大講座認知症病態学）

1. REST：老化脳制御因子からみる神経変性と寿命制御の交差点

長崎大学医学部神経形態（第一解剖） 森 望

2. 細胞老化のメカニズムとその加齢性疾患における役割

大阪大学微生物病研究所遺伝子生物学分野 原 英二

3. 脳－心臓－腎臓連携による恒常性の維持とその破綻

千葉大学大学院医学研究院 眞鍋 一郎

4. KEAP1-NRF2 制御系の活性化がもたらすアルツハイマー病改善効果

東北大学加齢医学研究所遺伝子発現制御分野 本橋ほづみ

【学会賞受賞講演】

10月13日（土） 16時20分～17時20分（第1会場 札幌市教育文化会館 1F 大ホール）

座長：鈴木 利治（北海道大学大学院薬学研究院神経科学）

1. 患者脳に異常蓄積した TDP-43 凝集体のプリオン様性質

東京都医学総合研究所・認知症プロジェクト 野中 隆

2. Aβ42・43 ペプチドの産生が増大する仕組み—抗アミロイド治療薬の作用との比較

大阪大学大学院医学系研究科・精神医学教室 大河内正康

第 37 回日本認知症学会学術集会市民公開講座

～認知症の理解と予防～

10月14日（日） 13:20～15:20（札幌市教育文化会館 1F 小ホール）

座長：下濱 俊（札幌医科大学医学部 神経内科学講座）

演者：石合 純夫（札幌医科大学医学部 リハビリテーション医学講座）

富本 秀和（三重大学大学院医学研究科 神経病態内科学）

内海久美子（砂川市立病院 認知症疾患医療センター）

羽生 春夫（東京医科大学医学部 高齢総合医学分野）

【ランチョンセミナー】

ランチョンセミナー 1 ABC 認知症スケールの特徴と使用法

10月12日（金） 12時20分～13時10分（第1会場 札幌市教育文化会館 1F 大ホール）

共催：第一三共株式会社

座長：川畑 信也（八千代病院愛知県認知症疾患医療センター）

演者：中村 祐（香川大学医学部精神神経医学講座）

（概要）アルツハイマー型認知症（AD）における ADL, BPSD および Cognitive function の見逃しを防ぎ、症状変化を経時的に観察するために、様々な評価スケールが開発されている。簡便かつ短時間で、AD 症状を包括的に評価できるスケールとして、我々が新たに開発した ABC 認知症スケールは、AD のスクリーニング、初期診断、認知症治療薬の使い分けや併用に適した臨床像の評価など、日常診療への応用が期待される。本セミナーでは本スケールの特徴と具体的な使用方法について解説する。

ランチョンセミナー 2 認知症に対する細胞治療の可能性

10月12日（金） 12時20分～13時10分 （第2会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホールA）

共催：ニプロ株式会社

座長：下濱 俊（札幌医科大学医学部神経内科学講座）

演者：本望 修（札幌医科大学医学部神経再生医療学部門）

（概要）自己骨髄間葉系幹細胞を薬機法下にて一般医療化すべく、脳梗塞及び脊髄損傷を対象として、医師主導治験を実施し、医薬品として実用化することを試みている。治験薬の品質及び安全性については、PMDAと相談しながら前臨床試験（GLP, non-GLP）を実施し、札幌医科大学の細胞プロセッシング施設にてGMP製造をしている。

自己骨髄間葉系幹細胞（STR01）は、2016年2月に厚生労働省から先駆け審査指定制度の対象品目として指定を受けている。

STR01の認知症への適応拡大について、検討を進めている。

ランチョンセミナー 3 アルツハイマー病における血管性因子の重要性

10月12日（金） 12時20分～13時10分 （第3会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホールBC）

共催：ヤンセンファーマ株式会社/武田薬品工業株式会社

座長：中島 健二（独立行政法人国立病院機構松江医療センター）

演者：阿部 康二（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経内科学）

（概要）人間の血管内皮は重量から言えば約1 kg（体重の約1-1.5%）に過ぎないが、一旦広げてみれば大きさはテニスコート1面分もあり、あらゆる臓器のあらゆる細胞と活発に物質交換ならびに情報交換を行っている機能的な最大臓器とも言える。脳血管の最大特徴である脳血液関門は、血管内皮から外側に向かう重層的な細胞構造によって構築されており（neurovascular unit, NVU）、NVU障害はアルツハイマー病にも深く関連していることが明らかにされた。このような毛細血管レベルの問題に加えて、もう少し太い動脈病変（small vessel disease）も認知症との関連が特に注目されている。

ランチョンセミナー 4 Unmet Need in Neuroscience

10月12日（金） 12時20分～13時10分 （第4会場 ロイトン札幌 2F エンプレスホール）

Sponsor：Chugai Pharmaceutical Co., Ltd.

座長：Hiroyuki Arai（Institute of Development, Aging and Cancer, Tohoku University）

演者：Rachelle Doody（Global Head of Neurodegeneration, F.Hoffmann-La Roche Ltd.）

（概要）One of the greatest areas of unmet need remaining in medicine is the need for disease modifying drugs for congenital and chronic neurological diseases. At Roche, we are targeting Multiple Sclerosis ; Neurodegenerative disorders, including Alzheimer's disease, Parkinson's disease, Huntington's disease, and Amyotrophic Lateral Sclerosis ; Neuromuscular diseases, especially Spinal Muscular Atrophy ; and the Neurodevelopmental disorder, Autism. Our approach to each disease is driven by the extent of our scientific understanding of these diseases, and our belief that the intervention is potentially transformational. In MS, we believe that treatments targeting B Cells are able to affect all forms of the disease, both relapsing remitting and chronic progressive. For Alzheimer's and Parkinson's disease, we target the proteinopathies of these diseases with monoclonal antibodies. For the rapidly progressive disorder, ALS, we target the pathway involved with cell death. For the genetic disorders of SMA and HD, we utilize gene modifying therapies, and our approach to Autism is based upon the neuroendocrine targets known to be associated with social behaviour. The ultimate goal is to provide lasting and impactful therapies for these disorders.

ランチョンセミナー 5 知ってほしい！認知症に潜むてんかん

10月12日（金） 12時20分～13時10分 （第5会場 ロイトン札幌 2F リージェントホール）

共催：エーザイ株式会社

座長：朝田 隆（東京医科歯科大学脳統合機能研究センター）

1. 認知症診療ガイドラインにおけるてんかんの位置付け，診断，治療の実際

演者：高橋 牧郎（大阪赤十字病院神経内科）

2. 高齢発症てんかん診療の実際

演者：赤松 直樹（国際医療福祉大学医学部神経内科/福岡山王病院神経内科）

（概要）高齢発症てんかんは、意識減損を伴う発作（複雑部分発作）を特徴とし、周囲に気づかれにくい。発作を見逃すと交通事故に繋がることや、致死的なリスクを伴う非けいれん性てんかん重積状態をきたすこともある。また、意識は保たれているものの記憶障害のみを主訴とする TEA（一過性てんかん性健忘）なども遷延する場合があります。認知症との鑑別診断が求められる。本講演では、認知症専門医、てんかん専門医の立場から、認知症に潜む高齢発症てんかんの診断と治療について講演をいただく予定である。

ランチョンセミナー 6 アルツハイマー病早期治療に向けて：

これまでの研究から見えてきたもの

10月12日（金） 12時20分～13時10分 （第6会場 ロイトン札幌 2F ハイネスホール）

共催：バイオジェン・ジャパン株式会社/エーザイ株式会社

座長：秋山 治彦（横浜市立脳卒中・神経脊椎センター）

演者：岩坪 威（東京大学大学院医学系研究科）

（概要）これまで多くの抗 A β 免疫療法への試みが進められてきたが、承認に至った薬剤はない。一方で、病態の理解という意味でこれらの臨床試験から得られた知見は少なくない。臨床症状が認められた時点ですでにアミロイド病理が進行している事実は、A β 陽性患者を対象とした介入の妥当性を支持する。本セミナーではアミロイド仮説を支持する証拠から、わが国における MCI 期の治療の妥当性を示した J-ADNI 研究、標的 A β の凝集状態の多様性にもとづく各抗アミロイド免疫療法の特性などをふまえた将来への展望、すなわち臨床現場の視点から目指すべき医療のかたちについてふれたい。

ランチョンセミナー 7 いま考えてみよう認知症発症前後における栄養管理

10月12日（金） 12時20分～13時10分 （第7会場 札幌市教育文化会館 1F 小ホール）

共催：テルモ株式会社

座長：浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座・環境保健学分野）

演者：水野 英彰（医療法人社団悦伝会目白第二病院）

（概要）高齢化社会で問題となるのは健康寿命を損ない要介護状態人口が増加し医療費を圧迫することが挙げられます。しかし高齢化すればフレイル人口が増加し、低栄養やサルコペニアから急性イベントを発症すると健康寿命を損なうことが推測されます。フレイル対策として最も重要なのは、ブレインフレイルから認知症発症への発展をいかに抑制出来るかと考えます。今回のセミナーでは、ブレインフレイルに対する腸内環境・時間栄養学等の当院における栄養管理上の工夫を中心にお示ししながら今後の可能性を検討させて頂きたい。

ランチョンセミナー 8 MCI 診断の現状と課題

10月13日(土) 12時35分～13時25分 (第1会場 札幌市教育文化会館 1F 大ホール)

共催: エーザイ株式会社/バイオジェン・ジャパン株式会社

座長: 羽生 春夫 (東京医科大学高齢総合医学分野)

演者: 山田 正仁 (金沢大学大学院医薬保健学総合研究科脳老化・神経病態学 (神経内科学))

(概要) バイオマーカーに裏付けられた高い診断確実度の Alzheimer 病 (AD) による軽度認知障害 (MCI) を主な対象に AD 治療薬開発が進んでいる。アミロイドマーカー (A) と神経変性マーカー (N) の両者が、さらにはタウマーカー (T) も陽性の AD-MCI に比べて、A-N+ の SNAP (suspected non-AD pathophysiology)-MCI は認知症への進展率が低く非 AD タウオパチー他の背景病理を有する。こうした病態解明をもとに、AD の進展モデルと治療・予防介入のあり方が改めて議論されている。

ランチョンセミナー 9 予防から始める BPSD 治療

10月13日(土) 12時35分～13時25分 (第2会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホール A)

共催: ノバルティス ファーマ株式会社

座長: 池田 学 (大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室)

演者: 数井 裕光 (高知大学医学部神経精神科学講座)

(概要) BPSD は、認知症者の療養生活に於いて、本人の生活の質を低下させ、介護者の介護負担を増大させる重要な症状である。BPSD に対しては、非薬物的治療が第一選択であるが、演者は、非薬物的治療を BPSD が出現する前から実施し、BPSD を出現しにくくすることが重要だと思っている。従って、非薬物的治療の基本となる、原因疾患の症状特性に基づいた適切な対応法をどのように家族介護者、ケアスタッフに知ってもらうかが重要となる。本講演では、我々が AMED 研究班で取り組んでいる「予防から始まる BPSD 治療」について話す予定である。

ランチョンセミナー 10 アルツハイマー型認知症患者への精神療法的アプローチ

10月13日(土) 12時35分～13時25分 (第3会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホール BC)

共催: 第一三共株式会社

座長: 三村 将 (慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室)

演者: 繁田 雅弘 (東京慈恵会医科大学精神医学講座)

(概要) アルツハイマー型認知症 (AD) においては、もの忘れだけでなく、仕事や家事などの失敗から様々な精神心理症状が引き起こされる。例えば、頻繁にもの忘れをし、言葉が出ないことで、不快 (感) だけでなく、不安 (感) や困惑・戸惑いが生じることもある。時間や場所の見当識の低下は、不安や混乱を引き起こすものである。物の置き忘れ、とりわけ大切なものをなくしたと思えば、焦ってそこかしこを探すことになるであろう。「あそこ」に置いたはずだと、誤った想起がなされて、そこに見当たらなければ、誰かが持っていったに違いないと被害的になるかもしれない。周りに迷惑をかけることが苦になって自責感も生じるであろう。失敗が日々重なって自信を喪失し、ひいては反応性に抑うつ気分が生じるかもしれない。やる気がなくなって意欲の低下を伴うこともある。こうした状況で、周囲が批判や非難をすれば (場合によっては助言や励ましでさえも)、本人を精神的に追い込んで、気持ちの余裕を失わせ、情動が不安定にすることがある。こうしたこのようにアルツハイマー型認知症では認知機能の低下から様々な精神心理症状が生じ得る。これらの症状に対する支持的精神療法や森田療法の試みを紹介する。

ランチョンセミナー 11 アルツハイマー病：疾患修飾へのアプローチ

10月13日（土） 12時35分～13時25分（第4会場 ロイトン札幌 2F エンプレスホール）

共催：小野薬品工業株式会社

座長：長田 乾（横浜総合病院臨床研究センター）

演者：小野賢二郎（昭和大学医学部内科学講座脳神経内科学部門）

（概要）本邦でアルツハイマー病（Alzheimer's disease：AD）治療薬として認可されている薬剤は、認知機能低下の速度を低下させることができないため、疾患修飾薬（disease-modifying drug：DMT）の開発が期待されている。

現在、アミロイドβ蛋白（Aβ）をターゲットにしたDMT開発研究が精力的に行われており、セクレターゼ阻害薬であるSemagacestatや抗アミロイドβ抗体solanezumab等は期待されたが、いずれも第3相試験で有意な効果は認められなかった。ADのDMT開発について再考する。

ランチョンセミナー 12 慢性便秘症診療ガイドライン2017を踏まえた高齢者便秘治療 ～ルビプロストンの有用性を含めて～

10月13日（土） 12時35分～13時25分（第5会場 ロイトン札幌 2F リージェントホール）

共催：マイラン EPD 合同会社

座長：高橋 牧郎（大阪赤十字病院神経内科）

演者：眞部 紀明（川崎医科大学検査診断学（内視鏡・超音波））

（概要）昨今の高齢化社会において、便秘の有病率は年齢とともに増加し、今後も更なる患者数の増加が予想される。その要因には消化管運動異常や内臓知覚の低下、ストレスなど、多くの要因が考えられる。便秘は認知症患者でも頻度の高い症状であり、QOLの低下にも繋がる。これまで便秘の診断や治療に関して、エビデンスに基づくガイドラインがなく2017年10月に慢性便秘症診療ガイドラインが発刊された。ガイドラインを踏まえ高齢者便秘治療のポイントについて、2012年11月に約30年ぶりに発売された慢性便秘症治療薬ルビプロストンの有用性も含め解説する。

ランチョンセミナー 13 認知症の高齢者と漢方～尊厳ある生を支えるために～

10月13日（土） 12時35分～13時25分（第6会場 ロイトン札幌 2F ハイネスホール）

共催：株式会社ツムラ

座長：東海林幹夫（弘前大学大学院医学研究科脳神経内科学講座）

演者：大澤 誠（医療法人あづま会大井戸診療所）

（概要）BPSDに対する抑肝散の使用が神経の興奮状態を鎮める目的で使用されることは流布している。しかし臨床の場では、いわば「陽性症状」を示す症例だけでなく、アパシーと食欲不振といった「陰性症状」を示す症例も少なくない。演者は、それに対して、補剤である人参養栄湯がフレイルなアルツハイマー病高齢者の食欲不振・アパシー、ひいては認知機能低下を同時に改善する結果を得たので報告する。また、認知症高齢者は身体疾患を合併することが多いが、特に気をつけたい便秘異常・排尿障害・倦怠感・嚥下困難・掻痒・疼痛等に対して、漢方が奏功することもお話したい。

ランチョンセミナー 14 アルツハイマー病の治験はどこへ向かうのか？

10月13日（土） 12時35分～13時25分（第7会場 札幌市教育文化会館 1F 小ホール）

共催：IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社

座長：岩坪 威（東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻神経病理学分野）

演者：岩田 淳（東京大学医学部附属病院神経内科）

（概要）現在までにアミロイドβに対する抗体を用いた治験が数多く行われてきたが、残念ながら認知機能を有意に低下させないというエンドポイントを満たした薬剤は未だ存在しない。その理由には様々な要因が想定されており、中にはアミロイドβがアルツハイマー病において果たす役割自体に対する疑問も含まれる。演者はその意見に与さないが、今までの治験の施行体制、方法自体が十分であったかという点については疑問を持っている。薬剤が効果を発揮するためには正しい対象に対して正しい標的を持った薬剤が適切に到達し、目的とした生物学的な効果を出せるかという点が揃った際に始めて効果が見られるためである。本セミナーではそれらについて検証し、今後の治験に対する展望を議論したい。

ランチョンセミナー 15 アルツハイマー型認知症治療の現状と展望

10月14日（日） 12時20分～13時10分（第1会場 札幌市教育文化会館 1F 大ホール）

共催：武田薬品工業株式会社

座長：川畑 信也（社会医療法人財団新和会八千代病院
愛知県認知症疾患医療センター）

演者：下濱 俊（札幌医科大学医学部神経内科学講座）

（概要）超高齢社会の到来とともに認知症者数が激増しており、2025年には約700万人に達すると推測されている。認知症の原因としては、アルツハイマー病（AD）が最も多い。

ADの治療薬として、現在、コリンエステラーゼ阻害薬とNMDA受容体拮抗薬が使用可能である。一方、アミロイドカスケード仮説に基づき認知症の発症や進行を阻止・抑制する治療戦略が進められている。近年、生活習慣や環境の制御・改善によりADの発症を遅延化し、進行を抑制する予防療法が注目されている。本講演では、AD治療の現状と展望について考える。

ランチョンセミナー 16 パーキンソン病における認知機能障害とその対策

10月14日（日） 12時20分～13時10分（第2会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホール A）

共催：大塚製薬株式会社

座長：下畑 享良（岐阜大学大学院医学系研究科神経内科・老年学分野）

演者：古和 久朋（神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション科学領域脳機能・精神障害分野）

（概要）超高齢社会を迎え、高齢パーキンソン病患者は年々増加の一途をたどっており、薬物治療やケアにおける課題が散見されます。

また、病態の進展に伴い高率に認知機能障害を合併することも知られています。高齢および認知機能障害を伴うパーキンソン病患者では日中の眠気や精神症状の副作用を起こしやすいことから薬物療法では有効性と安全性のバランスをとることが重要だと言われています。本講演では、高齢パーキンソン病治療の戦略について最近の知見を含めて紹介します。

ランチョンセミナー 17 レビー小体型認知症に伴うパーキンソニズムへの対応

10月14日（日） 12時20分～13時10分（第3会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホールBC）

共催：大日本住友製薬株式会社

座長：池田 学（大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学講座精神医学）

演者：小田原俊成（横浜市立大学保健管理センター）

（概要）レビー小体型認知症（DLB）に伴うパーキンソニズムの治療は、パーキンソン病（PD）に準じてレボドパ治療が推奨されるが、PDに比べ治療反応性が劣ることが報告されている。精神症状増悪のリスクがあるため、レボドパは少量より漸増し必要最低用量で調整するよう心がける。抗コリン薬は認知機能低下やせん妄、転倒のリスクとなるため、使用を避ける。本年7月、ゾニサミド25 mg錠がレボドパ投与下でDLBに伴うパーキンソニズムの治療薬として効能追加となった。精神症状、認知機能への影響なく、DLBの運動症状を改善することが期待される。

ランチョンセミナー 18 認知症診断の新所見「Cingulate Island Sign (CIS)」

10月14日（日） 12時20分～13時10分（第4会場 ロイトン札幌 2F エンプレスホール）

共催：富士フイルム富山化学株式会社

（旧 富士フイルム RI ファーマ株式会社）

座長：玉岡 晃（筑波大学医学医療系臨床医学域神経内科学）

演者：木村 成志（大分大学医学部神経内科学講座）

安野 史彦（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター精神科）

（概要）近年、画像診断がバイオマーカーとして重要な役割を担っており、認知症診療においても広く活用されている。さらに、認知症疾患診療ガイドラインを始め、各種診断基準が公開され、画像診断の活用法も更新されている。当セミナーにおいては、昨年6月に公開されたDLBの臨床診断基準において新たに追加された『Cingulate Island Sign (CIS)』を中心にそのEBMや診療への活用法について紹介する。

ランチョンセミナー 19 認知症に併存する不眠症の治療戦略

10月14日（日） 12時20分～13時10分（第5会場 ロイトン札幌 2F リージェントホール）

共催：エーザイ株式会社

座長：繁田 雅弘（東京慈恵会医科大学精神医学講座）

演者：内村 直尚（久留米大学医学部神経精神医学講座）

（概要）『睡眠薬の適正使用・休薬ガイドライン』では、不眠症の治療で最初に行うべきは、睡眠衛生指導などの非薬物療法とされている。また、認知症患者の不眠症に対して十分に有効で、かつ安全な薬物療法は確認されていない。非ベンゾジアゼピン系睡眠薬、メラトニン受容体作動薬、オレキシン受容体拮抗薬などが選択肢となり得る。いずれの場合も、リスク・ベネフィットを考え、必要最小限の用量をできる限り短期間使用することが望ましい。加えて、転倒や認知症状の悪化などの副作用に絶えず留意する必要がある。認知症に併存する不眠症治療戦略について紹介する。

ランチョンセミナー 20 フレイルと人參養栄湯—健康長寿に向けて—

10月14日（日） 12時20分～13時10分（第6会場 ロイトン札幌 2F ハイネスホール）

共催：クラシエ薬品株式会社

座長：寺山 靖夫（岩手医科大学医学部内科学講座神経内科・老年科分野）

演者：乾 明夫（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科漢方薬理学講座）

（概要）高齢化の進む我が国で、サルコペニア（骨格筋萎縮）を基礎としたフレイル（frailty）が注目されている。フレイルは精神心理的フレイル、社会的フレイル、身体的フレイルなどに分けられ、生物寿命と健康寿命が相違する要因として重要である。

多成分系の漢方薬は、サルコペニアを初め心身両面の異常を示すフレイルの治療に、威力を発揮するものと期待される。人參養栄湯はがん緩和医療などに広く応用されてきた。本講演では、フレイル病態や健康長寿に及ぼす人參養栄湯の作用とそのメカニズムを、最近の知見を基にアンチエイジングの立場から述べてみたい。

【モーニングセミナー】

モーニングセミナー 1 今求められている認知症・せん妄・不眠症対策

—医療スタッフに対する教育的アプローチも含めて—

10月13日（土） 8時00分～8時50分（第2会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホール A）

共催：MSD 株式会社

座長：浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座・環境保健学分野）

演者：井上真一郎（岡山大学病院精神科神経科）

（概要）一般病院における認知症患者の問題点として、必ずしも認知症の診断を受けていないことが挙げられる。そのため、認知症に気づかれることなく経過してせん妄を発症するなど、結果的に対応が後手後手となる。認知症の症状は「物忘れ」だけでなく、実行機能障害や視空間認知障害などに伴う特徴的なエピソードが入院中の多くの場面でみられる可能性がある。従って、一般病院の医療者は、どのようなアンテナを張れば良いかについて正確な知識を持つ必要があり、そこには教育的なアプローチが有用と考えられる。当日は不眠症やせん妄対策の観点から発表したい。

モーニングセミナー 2 実地臨床の中で捉まえる次世代認知症医療への糸口

10月13日（土） 8時00分～8時50分（第4会場 ロイトン札幌 2F エンプレスホール）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

座長：小野賢二郎（昭和大学医学部内科学講座脳神経内科学部門）

演者：武田 朱公（大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学寄附講座）

（概要）認知症疾患の分子病態の解明が日進月歩進んでいるが、その恩恵を実地臨床の現場で実感するためにはもう少し時間を要するようである。一方で認知症外来は今日も忙しく、現実的に解決しなければならない問題が山積みとなっている。認知症の「診断」「治療」「介護」の現場において医療者・患者・家族がどのような問題に日々直面し、最新のテクノロジーや基礎医学研究はそれをどのように解決しうるか、演者らの取り組みを含めて概説したい。

モーニングセミナー 3 アルツハイマー病の体液バイオマーカー研究

10月13日(土) 8時00分～8時50分 (第5会場 ロイトン札幌 2F リージェントホール)

共催: 中外製薬株式会社

座長: 池内 健 (新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター)

演者: 徳田 隆彦 (京都府立医科大学分子脳病態解析学講座 (神経内科))

(概要)アルツハイマー病(AD)をはじめとする変性性認知症においては、脳病理は存在するが臨床的には認知症を発症していないプレクリニカル期が根本治療の最適な介入時期と考えられるが、その正確な診断のためには疾患特異的な病理変化を反映する客観的な診断BMの確立が必須である。ADでは、これまでの研究から、髄液中のA β 42, t-タウ, p-タウが「国際的に確立された生化学的BM」と位置づけられている。しかし、非侵襲的で効率的な血液BMの開発が強く求められている。今回はADのBM研究について最新知見を概説したい。

モーニングセミナー 4 Relating Tau Pathology to Cognitive Impairment in Neurodegenerative Disease

10月13日(土) 8時00分～8時50分 (第6会場 ロイトン札幌 2F ハイネスホール)

Sponsor: Eli Lilly Japan K.K.

演者: Michael D. Devous (Vice President, Avid Radiopharmaceuticals, Inc.)

モーニングセミナー 5 DLBの最適な治療とケアを目指して:

認知症鑑別診断におけるDaT-SPECTの役割とは?

10月14日(日) 8時00分～8時50分 (第2会場 ロイトン札幌 3F ロイトンホールA)

共催: 日本メジフィジックス株式会社

後援: 日本脳神経核医学研究会/日本核医学会

座長: 本井ゆみ子 (順天堂大学大学院認知症診断・予防・治療学講座)

演者: 小林 良太 (山形大学医学部精神医学講座)

(概要)DLBの多様な臨床症状に対応する最適な治療・ケアには正確な鑑別診断が必要となる。しかし、精神症状や自律神経症状を前景に発症する場合など、初発症状の多様性が早期の鑑別診断を困難にしている。そこで本セミナーでは認知症の早期鑑別診断でのDaT-SPECTの利用法について症例を交えながら紹介する。

モーニングセミナー 6 アルツハイマー型認知症の診療の道しるべ ～認知症疾患診療ガイドライン 2017～

10月14日（日） 8時00分～8時50分（第5会場 ロイトン札幌 2F リージェントホール）

共催：ヤンセンファーマ株式会社

座長：東海林幹夫（弘前大学大学院医学研究科脳神経内科学講座）

演者：和田 健二（鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野）

（概要）高齢化が進むわが国における認知症診療の重要性は増大しているなか関連6学会の合同で、認知症疾患診療ガイドライン 2017として改訂された。本ガイドラインは「治療」に限定せず、診断や診断後の介入、サポートについて具体的に言及した「診療」ガイドラインであり、認知症診療において不可避と考えられる合併症や医学管理上問題となる事項の解決法を具体的に提示し、また、非 Alzheimer 型認知症や内科的疾患について言及したものとなっている。本セミナーでは Alzheimer 型認知症の治療などを含む本ガイドラインの概要を説明する。

【イブニングセミナー】

イブニングセミナー 1 DLB の診療のコツ ―画像診断学と症候学の立場から―

10月13日（土） 17時30分～18時20分（第5会場 ロイトン札幌 2F リージェントホール）

共催：日本メジフィジックス株式会社/エーザイ株式会社

座長：三村 将（慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室）

演者：清水聰一郎（東京医科大学病院高齢診療科）

藤城 弘樹（かわさき記念病院精神科）

（概要）認知症の主な病型として AD, DLB, VaD, FTLD があげられるが、DLB の適切な診断については、未だ十分とは言えない。そこで、本セミナーでは対談形式で、DLB の早期診断の重要性から診断・治療までのアプローチを中心に、立場の異なる診療科から診療のコツについてお話しいただく。特に DLB の検査所見と症候学の視点からどのように早期に診断し治療していくか、画像診断学と症候学の立場から DLB 診療の理解を深めていく。

イブニングセミナー 2 多発性硬化症（MS）における高次脳機能障害を考える

10月13日（土） 17時30分～18時20分（第6会場 ロイトン札幌 2F ハイネスホール）

共催：田辺三菱製薬株式会社

座長：吉田 一人（旭川赤十字病院神経内科）

演者：菊地 誠志（国立病院機構北海道医療センター神経内科）

（概要）多発性硬化症（MS）は代表的な中枢神経系の炎症性脱髄疾患で、多彩な症状を呈する。症状として目立ちやすい身体障害は MS の症状の一部にすぎず、最近は高次脳機能障害にも目が向けられている。特に認知機能に関しては、記憶障害が前面に出てくるわけではなく、周りが気づきにくいことが多い。本セミナーでは MS の病態について、また MS における認知機能障害の頻度や特徴、評価する為のバッテリー、更にその症状に対する治療や対処の現状を概説する。

【ポスター討論】

学術集会1日目 10月12日（金）16時40分～17時40分

<学会奨励賞候補演題（基礎）>

- 001 慢性脳低灌流がアルツハイマー病における脳内アミロイド β 蓄積を増加させる機序の解明
東京大学大学院医学系研究科神経内科学 坂内 太郎
- 002 マウスにおけるアルツハイマー病血漿バイオマーカー分子 APP669-711 の産生機構の解明
東京大学大学院薬学系研究科 松崎 将也
- 003 アストロサイト由来 A β 分解酵素 Kallikrein-related peptidase 7 の発現制御機構の解析
東京大学大学院薬学系研究科機能病態学教室 須藤 優喜
- 004 アルツハイマー病モデルマウス海馬 CA1 領域における神経機能回路の段階的破綻
早稲田大学大学院先進理工学研究科生命医科学専攻 高村 理沙
- 005 The analysis of APP- β CTF mediated vesicle traffic impairment
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 金城 那香
- 006 新規ネプリライシン活性制御因子に基づくアルツハイマー病予防法の開発
国立研究開発法人理化学研究所脳神経科学研究センター神経老化制御研究チーム 綿村 直人
- 007 嗅内皮質－海馬投射経路の慢性的神経活動亢進によるタウ伝播の増悪
東京大学大学院医学系研究科神経病理学分野 西田 達
- 008 タウ伝播培養細胞モデルにおけるシナプス接着分子の影響
東京大学大学院薬学系研究科機能病態学教室 根本 侑
- 009 タウモデルマウスを用いた新規タウ PET リガンド [18F]PM-PBB3 の有用性
量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所脳機能イメージング研究部 木村 妙子
- 010 FUS の細胞間伝播機序に関する研究
東京大学大学院薬学系研究科 渡邊 成晃

<学会奨励賞候補演題（臨床）>

- 011 早期アルツハイマー病におけるタウ病変の進展は活性化ミクログリアを誘導する
浜松医科大学学生体機能イメージング研究室 寺田 達弘
- 012 脳脊髄液バイオマーカー AT (N) system をもちいた認知症関連疾患の再考
新潟大学脳研究所遺伝子機能解析学分野 春日 健作
- 013 脳内アミロイド β 蓄積を反映する血液バイオマーカー：多施設共同研究による精度の検討
国立長寿医療研究センター 中村 昭範
- 014 免疫磁気通減分析（IMR）を用いたアルツハイマー病の革新的血液診断ツール
慶應義塾大学医学部生理学教室 森本 悟
- 015 免疫磁気通減分析（IMR）を用いたレビー小体病の革新的血液診断ツール
脳神経内科はつたクリニック 初田 裕幸
- 016 AD continuum における THK-5351 の集積とアミロイド集積との関連の検討
国立長寿医療研究センター 竹中 章倫

- 017 Logopenic 型進行性失語症患者における臨床症状とアミロイド・タウ PET との関連
大阪市立大学医学部神経内科 武田 景敏
- 018 Nationwide survey on cerebral amyloid angiopathy in Japan
Department of Neurology and Neurobiology of Aging, Kanazawa University Kenji Sakai
- 019 日本人剖検脳における加齢性変化の程度と拡がり
愛知医科大学加齢医科学研究所 三室 マヤ
- <基礎 (A β , APP, presenilin)>
- 020 Proximity Ligation Assay による A β ₁₋₄₂ オリゴマーの検出
東京農工大学大学院工学府生命工学専攻 細井 千尋
- 021 血中アミロイド β 蛋白 (A β) オリゴマ除去システム：血漿成分分画器を用いて
藤田医科大学（藤田保健衛生大学）大学院保健学研究科 齋藤 優太
- 022 アミロイド β 凝集阻害機構のカフェ酸誘導体をツールとした分光学的解析
室蘭工業大学大学院工学研究科 上井 幸司
- 023 複数キネシン分子モーターによる協同的なアミロイド前駆タンパク質輸送
東北大学工学研究科 林 久美子
- 024 アミロイド β を分解する短鎖ペプチドの発見
O-Force 合同会社 中村 里菜
- 025 アミロイド β を分解する酵素ペプチド (Catalytide) の同定
O-Force 合同会社 秋澤 俊史
- 026 APPswe/PS1dE9 マウスにおけるガランタミンの超早期治療の有効性
札幌医科大学医学部神経内科 齋藤 太郎
- 027 In vitro においてシロスタゾールは β アミロイドのオリゴマー化を抑制する
昭和大学内科学講座神経内科学部門 所澤 任修
- 028 アミロイド斑蓄積の seed として働く可溶性 A β オリゴマーの同定
東京大学大学院医学系研究科神経病理学 箱崎 真結
- 029 分子内ジスルフィド結合形成によるアミロイド β の毒性コンホメーションの制御
京都大学大学院農学研究科食品生物科学専攻 松島 由佳
- 030 天然物によるアミロイド β の毒性オリゴマー形成阻害機構
京都大学農学研究科食品生物科学専攻 村上 一馬
- 031 Expression of APP770 in normal and Alzheimer's disease brains
関西福祉科学大学保健医療学部リハビリテーション学科 早崎 華
- 032 γ セクレターゼのエクソサイトでの認識機構
国立長寿医療研究センター分子基盤研究部認知症病態解析室 福森 亮雄
- 033 Iron-treatment enhances γ -secretase activity and inhibits amyloid deposition
名古屋市立大学医学部病態生化学分野 鄒 鶴
- 034 神経細胞興奮が β -amyloid precursor protein (APP) processing へ及ぼす影響
新潟大学脳研究所遺伝子機能解析学分野 石黒 敬信

- 035 γ セクレターゼ切断産物 p3-A β ペプチドの加齢および AD 発症による産生変化
北海道大学大学院薬学研究院 羽田沙緒里
- 036 Glycosylation deficiency of nicastrin induces cleavage defect of γ -secretase
同志社大学大学院生命医科学研究科神経病理学 モニルッザマン モハマド
- 037 p3-A β 37 機能コアペプチド p3-A β [9-19] 測定法の開発
北海道大学薬学部神経科学研究室 林 理沙
- 038 A β 42 oligomer 誘導性の神経毒性を緩和する p3-A β ペプチドの体内動態解析
北海道大学薬学部神経科学研究室 木下 祥一
- 039 ネプリライシン活性制御における性差の影響
理研脳神経科学研究センター 齊藤 貴志
- 040 PKA および PKC 経路とアストロサイトのネプリライシンとインスリン分解酵素発現検討
北陸大学薬学部 山本 直樹
- 041 2 型糖尿病による A β 病理増悪化機構：膜コレステロール増加とエンドサイトーシス障害
国立長寿医療研究センターアルツハイマー病研究部病因遺伝子研究室 木村 展之
- 042 CD14 and Toll-like receptor 4 promote fibrillar A β uptake by microglia through clathrin-mediated pathway
Department of Neurology, School of Medicine, Sapporo Medical University Fujikura Mai
- 043 アルツハイマー病の新規発症メカニズム：A β を制御するリスク遺伝子と分子パスウェイ
大阪大学医学部精神医学 森原 剛史
- 044 ゲノム編集技術による PSEN1 変異ノックインモデルの作製
理化学研究所脳神経科学研究センター神経老化制御研究チーム 佐藤 香織
- 045 認知症の増悪に関わる脳アミロイドアンギオパチー：モデル動物を用いた治療標的探索
福島県立医科大学新医療系設置準備室 北爪しのぶ
- 046 加齢性脳機能障害における発達期要因の解明
東京都医学総合研究所脳発達神経再生研究分野 田中 智子

<基礎 (a-synuclein 関連)>

- 047 アプタマー修飾磁気ビーズを用いた α -シヌクレインオリゴマー検出法の開発
東京農工大学大学院工学府生命工学専攻 久保梨夏子
- 048 微小管結合タンパク質アルファシヌクレインの神経軸索内輸送における機能解析
大阪市立大学大学院医学系研究科細胞機能制御学教室 鳥羽 栞
- 049 FKBP12-immunopositive inclusions in patients with α -synucleinopathies
京都大学大学院医学研究科薬剤疫学 本城 靖之
- 050 シヌクレイノパチーに伴うレム睡眠関連症状の出現機構のマウスを用いた解析
筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 (WPI-IHS) 高木真莉奈
- 051 レビー小体病における α シヌクレインの凝集阻害薬の創製
東北大学大学院薬学研究科薬理学分野 福永 浩司

<基礎 (apoE)>

- 052 細胞内アダプター分子 X11L を介した ApoE4 による細胞内情報伝達機構の解明
北海道大学大学院薬学研究院神経科学 郭 家伶
- 053 ヒト型とマウス型 apolipoprotein E が A β 脳内 dynamics に与える影響の相違
東京大学大学院医学系研究科神経病理学分野 粉川明日香
- 054 Regulation of expression and release of ApoE in cultured astrocytes
名古屋市立大学大学院医学研究科 アブドラ モハンマド
- 055 ApoE 蛋白機能解析のためのヒト iPS 細胞由来アストロサイト分化誘導法の確立
慶應義塾大学医学部生理学教室 森本 悟
- 056 Effect of lactoferrin on ApoE secretion from cultured astrocytes
Nagoya City University Medical Sciences Biochemistry Jung CG
- 057 APOE2 promotes longevity ; a clinical and preclinical assessment
国立長寿医療研究センター 篠原 充
- 058 血漿中の変性 Apolipoprotein E の解析
国立研究開発法人国立長寿医療研究センター研究所共同利用推進室 渡邊 淳
- 059 アルツハイマー病剖検脳を用いた *APOE* 遺伝型とミエリン関連遺伝子発現との関連
新潟大学脳研究所遺伝子機能解析学分野 原 範和
- 060 *APOE* 遺伝型は *APP* の遺伝子発現量に影響を及ぼすか? : ヒト死後脳における検証
新潟大学脳研究所遺伝子機能解析学分野 村上 涼太

<基礎 (tau 関連)>

- 061 2N3R タウを用いたタウ凝集コアの探索
学習院大学大学院自然科学研究科生命科学専攻 川出 海司
- 062 ヘパリン非存在化で自己凝集する最短タウペプチド配列の決定
学習院大学大学院自然科学研究科生命科学専攻 佐藤 悠平
- 063 Tau の C 末端領域における凝集責任配列の同定とその性質の解析
順天堂大学大学院老人性疾患病態・治療研究センター 下中翔太郎
- 064 チューブリン変性を起点としたタウ異常性の獲得の可能性
同志社大学生命医科学部神経病理学研究室 藤原ひとみ
- 065 有機ヒ素 DPAA (ジフェニルアルシン酸) による Tau 蛋白発現変化の研究
筑波大学医学医療系神経内科 石井 一弘
- 066 Rho-ROCK 阻害薬によるタウ蛋白オリゴマー形成抑制機構の解明
福井大学医学部認知症医学推進講座 濱野 忠則
- 067 タウ蛋白質の神経細胞における軸索局在化機構と細胞内動態
同志社大学大学院脳科学研究科 岩田 実里
- 068 アルツハイマー病と前頭側頭葉変性症に共通する異常タウリン酸化とシナプス障害
東京医科歯科大学難治疾患研究所神経病理学分野 藤田 慶大
- 069 タウ蛋白伝播モデルマウスにおける行動および組織学的解析
順天堂大学脳神経内科 林 徹生

<基礎（その他の認知症関連蛋白質・遺伝子）>

- 070 固定神経変性疾患脳組織からのアミロイド関連タンパク質の抽出およびその網羅的解析
公益財団法人東京都医学総合研究所認知症・高次脳機能研究分野 亀谷 富由樹
- 071 A β 産生抑制タンパク質 ILEI/FAM3C の転写制御機構の解析
滋賀医科大学神経難病研究センター 渡邊 直希
- 072 A β 産生抑制タンパク質 ILEI の構造および機能の解析
滋賀医科大学神経難病研究センター 日比野 絵美
- 073 孤発性アルツハイマー病剖検脳における神経細胞特異的ヒストン修飾解析
東京大学神経内科 間野 かがり
- 074 アルツハイマー病危険因子 TREM2 のリガンドと細胞内シグナリングの解析
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 城谷 圭朗
- 075 ポリジェニックハザードスコアを用いたアルツハイマー病発症年齢解析
大阪大学大学院医学系研究科ゲノム情報学共同研究講座 菊地 正隆
- 076 APP と Alcadin α の神経細胞における機能解析
北海道大学大学院薬学研究院神経科学研究室 李 姓陳
- 077 Phosphorylation of Alcadin α is required for kinesin-1 association
Laboratory of Neuroscience, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Hokkaido University Anqi Hu
- 078 前頭側頭葉変性症に関連した異常 RNA の分解機序の検討
大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室 河邊 有哉
- 079 Precision Medicine によるパーキンソン病の次世代治療ストラテジー開発
神戸大神経内科 佐竹 渉
- 080 遺伝性 CJD-V180I の脳に蓄積するプリオン蛋白の解明
東京医科歯科大学大学院脳神経病態学分野 三條 伸夫

<基礎（病態モデル動物）>

- 081 加齢性海馬硬化症モデルショウジョウバエの解析
国立長寿医療研究センター認知症先進医療開発センターアルツハイマー病研究部 飯島 浩一
- 082 ショウジョウバエモデルによる C9-ALS/FTD の病態解明
大阪大学大学院医学系研究科神経難病認知症探索治療学 上山 盛夫
- 083 オートファジー抑制蛋白質 Rubicon の発現抑制によるポリグルタミン病モデルの症状改善
東京都医学総合研究所糖尿病性神経障害プロジェクト 大場 柁樹
- 084 APP <NL-G-F>マウスを用いたヘルペスウイルス潜伏感染下アルツハイマー病モデル
福岡大学アニマルセンター 田中 聖一
- 085 新規アルツハイマー病（AD）モデルマウスにおける神経機能低下の分子メカニズム解析
国立長寿医療研究センター認知症先進医療開発センター創薬モデル動物開発室 南 竜之介
- 086 A new generation of human-close Alzheimer's disease rat model
AgentT 多田 智
- 087 新規ゲノム編集技術を利用したアルツハイマー病動物モデル作製
理化学研究所脳神経科学研究センター神経老化制御研究チーム 笹栗 弘貴

- 088 アルツハイマー病モデルマウスにおける小胞体ストレス応答（過剰発現 VS ノックイン）
理化学研究所脳科学総合研究センター神経老化制御研究チーム 石井 綾乃
- 089 Analysis of phospholipid species in AD model mouse brain by LC-MS/MS
島根大学医学部臨床検査医学 Haque MD.
- 090 歯の喪失がアルツハイマー病を誘発させるメカニズムについて
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科歯科機能形態学分野 後藤 哲哉
- 091 アルツハイマー病モデルマウスでは早期にミトコンドリアで酸化ストレスが増大する
札幌医科大学医学部神経内科 真部 建郎
- 092 周産期ストレスマウスに見られる初老期認知機能障害
中沢会上毛病院 高鶴 裕介
- 093 ロスマリン酸のアルツハイマー病予防効果の機序解明
東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻 山本 宗
- 094 MSC transplant decreases A β and increases angiogenesis in A β -infused rats
島根大学医学部臨床検査医学 Sheikh Abdullah
- 095 糖尿病を伴うアルツハイマー病態増悪化機構における海馬インスリンシグナルの関与
国立長寿医療研究センター統合加齢神経科学研究部 田之頭大輔
- 096 糖尿病治療薬による海馬インスリンシグナルを介した認知機能障害改善機構
国立長寿医療研究センター統合加齢神経科学研究部 田之頭大輔
- 097 Fibril-inoculated alpha-Synuclein BAC Tg mice
京都大学大学院医学研究科臨床神経学 奥田 真也
- 098 動物モデルにおけるタウと α シヌクレインの伝播の違い
東京都医学総合研究所認知症プロジェクト 下沢 明希
- 099 Tau protein induced neural impairment in tauopathy mice : tau PET and H-MRS study
量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所脳機能イメージング研究部 高堂 裕平
- 100 mGluR5 受容体 PET を指標とした rTg4510 マウスモデル脳における神経機能病態の画像診断
量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所 下條 雅文
- 101 Silencing of FUS in the marmoset caudate induces disruption of fiber tracts
名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学 遠藤 邦幸
- 102 演題取り下げ

<基礎（治療薬等開発研究（前臨床））>

- 103 Effect of TRF on memory, proteome profile, and amyloid pathology in APP/PS1 mice
滋賀医科大学神経難病研究センター Hamezah Hamizah Shahirah
- 104 ビフィズス菌投与による脳血管性認知症モデルの認知機能低下に対する抑制作用
森永乳業株式会社研究本部基礎研究所 前畑 葉月
- 105 Bifidobacterium breve A1 摂取によるアルツハイマー病の認知障害への改善作用の検討
森永乳業株式会社基礎研究所 小林 洋大
- 106 クルクミン誘導体 Shiga-Y5 は A β の蓄積を抑制するが、タウの蓄積には作用しない
滋賀医科大学神経難病研究センター 柳沢大治郎

- 107 メマンチン及び抑肝散の相互作用研究
株式会社ツムラ漢方研究開発本部 松本 隆志
- 108 Alcadin β 代謝産物 p3-AIc β は A β 及び NMDA 誘導性神経細胞毒性を緩和する
北海道大学大学院薬学研究院神経科学研究室 齋藤 遥
- 109 アミロイド β 凝集と神経細胞毒性を抑制するプロアントシアニジン誘導体の開発
昭和大学薬学部薬品製造化学部門 水野 美麗
- 110 タウオパチーモデルマウスにおけるビール苦味成分イソ α 酸の脳内炎症抑制効果
キリン (株) 健康研 阿野 泰久
- 111 Nose-to-Brain 経路を介したペプチド薬物脳送達による認知症治療効果の評価
神戸学院大学薬学部薬物送達システム学研究室 亀井 敬泰
- 112 経鼻リファンピシン-リファンピシンの新しい投与経路による認知症予防
大阪市立大学大学院医学研究科認知症病態学 梅田 知宙
- 113 New therapy of Alzheimer's disease and schizophrenia based on D-cell hypothesis
Dept Psychiatry, Iwaki Kyoritsu Gen Hosp Ikemoto Keiko
- 114 ネプリライシン発現増強化合物の構造最適化
長崎大学医歯薬学総合研究科ゲノム創薬学 堀 祐真
- 115 外来蛋白質を持続発現するボルナウイルスベクターの新たなアルツハイマー病治療戦略
京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座 上田紗希帆
- 116 マウス末梢血造血幹細胞由来ミクログリア様細胞の機能解析
京都薬科大学生命薬科学系病態生理学分野 黒田絵莉子
- 117 アルツハイマー病モデルマウスにおける骨髄間葉系幹細胞治療のメカニズム検討
札幌医科大学医学部神経内科学講座 横川 和樹
- 118 組み換えダイズ蛋白によるアルツハイマー病経口免疫療法の開発
弘前大学大学院医学研究科脳神経内科 瓦林 毅
- 119 アミロイド β のC末端モチーフを有するアルツハイマー病予防・治療薬の開発
昭和大学薬学部薬品製造化学部門 福原 潔
- 120 Characterization of the selective binding properties of crenezumab
Genentech, Inc., a member of the Roche Group William Meilandt
- 121 Identification of alprenolol as an anti-prion compound using SPRi
宮崎大学医学部感染症学講座微生物学分野 新 竜一郎
- <アルツハイマー病 (疫学・リスク)>
- 122 アルツハイマー病患者における血中ビタミン B12 濃度と認知機能, 海馬体積との関連
厚生中央病院神経内科 北川 尚之
- 123 ApoE E4 陽性女性では血中ビタミン C が将来の認知機能低下の減少と関連する: 中島町研究
金沢大学医薬保健研究域医学系脳老化・神経病態学 (神経内科学) 篠原もえ子
- 124 MCI の進行における性差と教育程度の関与
東京大学医学部附属病院 岩田 淳

- 125 認知症発症と活動志向性の関連 — US-ADNI による認知機能評価尺度からの検討 —
愛知淑徳大学健康医療科学部スポーツ・健康医科学科 前野 信久

<アルツハイマー病（生化学，遺伝子，その他の検査）>

- 126 血清葉酸値とヘモグロビン値は脳内アミロイドβ沈着のバイオマーカーとなり得るか
南風病院臨床応用開発室 吉永 拓真
- 127 Immuno Magnetic Reduction 法による AD, MCI 患者に対する血漿 Aβ42・Tau の測定
福井大学医学部附属病院神経内科 上野重佐子
- 128 Cerebrospinal fluid and blood biomarkers in neurological diseases
弘前大学医学部脳神経内科学講座 清野 祐輔
- 129 脳脊髄液中の Aβ 毒性コンホマー量とタウの関連
筑波大学医学医療系神経内科学 富所 康志
- 130 特発性正常圧水頭症患者の初期髄液中 p-Tau はシャント術後3年後の認知機能を予測した
順天堂大学医学部脳神経外科学講座 中島 円
- 131 成人期ダウン症候群における血漿中リン酸化タウ濃度上昇は認知症発症を予測する
京都府立医科大学大学院医学研究科神経内科学 笠井 高士
- 132 早期アルツハイマー病理を呈する患者脳における神経炎症関連遺伝子発現解析
名古屋大学環境医学研究所病態神経科学 祖父江 顕
- 133 家族性アルツハイマー病で同定された新規 PSEN1 変異の病的意義の検討
新潟大学脳研究所遺伝子機能解析学 Zhu Bin
- 134 血漿中アミノ酸およびアミン類のプロファイルを用いた認知症早期診断の可能性
味の素株式会社イノベーション研究所 矢野 由紀
- 135 認知症の血中マイクロ RNA マーカー探索
国立長寿医療研究センターもの忘れセンター 櫻井 孝
- 136 アルツハイマー病患者における髄液エクソソーム内の AD 関連 miRNA の定量
京都大学大学院医学研究科人間健康学 宮本 将和
- 137 多数例のエクソソーム解析データに基づいた新規アルツハイマー病関連遺伝子の同定
東京大学医学部附属病院神経内科 田中 真生
- 138 アルツハイマー病患者尿中タンパク質の分子ネットワーク解析
新潟大学大学院医歯学系社会・環境医学 渡邊 裕美
- 139 DNA メチル化量を指標としたアルツハイマー病患者の行動・心理症状出現機序の検討
東京慈恵会医科大学ウイルス学講座 小林 伸行

<アルツハイマー病（病理，病態）>

- 140 高度の Alzheimer 病変に tauopathy を合併した1剖検例
近江八幡市立総合医療センター神経内科 松尾 宏俊
- 141 部分をみながら半球標本全体も俯瞰するデジタル画像新技術 extended CENSUS
新渡戸記念中野総合病院神経内科 内原 俊記

142 日本ブレインバンクネット (JBBN) の構築とその運用

国立精神・神経医療研究センター臨床検査部 森島 真帆

143 「ブレインバンク」ドナー登録者の意識—アンケート調査のテキスト分析による研究—

東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンク 小幡 真希

144 認知症性疾患のバイオリソースの構築と活用：新潟大学脳研究所における取り組み

新潟大学脳研究所遺伝子機能解析学分野 宮下 哲典

<レビー小体型認知症 (画像, 病理, 病態)>

145 レビー小体型認知症における脳アミロイド血管症と脳脊髄液バイオマーカーとの関連

東京都健康長寿医療センター神経内科 金丸 和富

146 パーキンソン病における髄液 α シヌクレインと各種バイオマーカーとの関連に関する検討

旭川医科大学内科学講座 (循環・呼吸・神経病態内科学分野) 片山 隆行

147 レビー小体型認知症における臨床症状と髄液中オレキシン濃度の関連

東京医科大学高齢総合医学分野 清水聡一郎

148 レビー小体型認知症患者における幻覚と背側脳幹萎縮との関連

大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学 大友 理

149 IMP-脳血流 SPECT における Cingulate Island Sign の有用性

東京医科大学医学部高齢総合医学分野 金高 秀和

150 AD と DLB の鑑別における ECD-脳血流 SPECT CIS core の有用性について

昭和大学医学部内科学講座神経内科学部門 二村 明德

151 脳血流 IMP-SPECT における CIScore 解析による DLB・AD 鑑別の検証

札幌医科大学神経内科 松村 晃寛

152 レビー小体病における Scenium を用いた ^{123}I -FP-CIT SPECT 線条体解析に関する検討

北村山公立病院神経内科 中嶋 信人

153 ダットスキャンの視覚評価で正常かつ健常者群との比較で集積低下を示した症例の検討

東邦大学佐倉病院放射線科 中塚 智也

154 レビー小体型認知症の早期診断における DAT-SPECT 読影は parkinsonism に留意すべき

兵庫県立姫路循環器病センター神経内科 寺澤 英夫

<前頭側頭葉変性症>

155 交叉性失語を呈した前頭側頭葉変性症の 1 例

岐阜県総合医療センター神経内科 西田 浩

156 原発性進行性失語症の障害脳領域におけるレーヴン色彩マトリックス検査の比較検討

筑波大学医学医療系精神医学 東 晋二

157 前頭側頭葉変性症におけるドパミントランスポーター SPECT

山形大学医学部精神医学講座 小林 良太

158 意味性認知症例におけるガラントミン投与とリハビリテーション指導後の脳血流変化

独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 滋賀病院神経内科 阪上 芳男

<白質脳症>

- 159 歩行失行様の小刻み歩行で発症し、多発脊椎ヘルニアを認めた HDLS の一例
大阪赤十字病院神経内科 雑賀 玲子
- 160 ロジスティック回帰による CSF1R 変異陽性確率予測モデル式の検討
信州大学医学部脳神経内科, リウマチ・膠原病内科 高曽根 健
- 161 AARS2 変異による成人発症大脳白質脳症の分子臨床遺伝学的解析
新潟大学脳研究所遺伝子機能解析学分野 目崎 直実

<プリオン病>

- 162 脳 MRI 所見でクロイツフェルト・ヤコブ病と鑑別を要したペラグラ脳症の 1 例
埼玉医科大学神経内科 伊藤 康男
- 163 多様な症状を呈する Gerstmann-Sträussler-Scheinker (GSS) 病の一家系
秋田大学医学部脳神経外科 中瀬 泰然
- 164 初期にレビー小体型認知症と診断したクロイツフェルト・ヤコブ病の一例
順天堂大学東京江東高齢者医療センター脳神経内科 富沢 雄二
- 165 Common neurologic and psychiatric symptoms as initial manifestations of CJD
横須賀共済病院神経内科 入岡 隆
- 166 当科における E200K 変異 Creutzfeldt-Jakob disease の検討
防衛医科大学校総合臨床部 汐崎 祐
- 167 V180I 変異クロイツフェルト・ヤコブ病の病理学的進行について
愛知医科大学加齢医科学研究所 赤木 明生
- 168 MM1 型・MM2 型を合併した sCJD における MRI 拡散強調像と各病変分布の検討
愛知医科大学加齢医科学研究所 池田 知雅
- 169 MM2 皮質型孤発性 Creutzfeldt-Jakob 病の臨床診断基準案の提案
金沢大学大学院脳老化・神経病態学（神経内科学） 浜口 毅
- 170 症状出現前から頭部 MRI を確認したクロイツフェルトヤコブ病の画像変化の経時的進展
信州大学医学部附属病院脳神経内科, リウマチ・膠原病内科 宮崎 大吾
- 171 診断に苦慮した古典型弧発性 Creutzfeldt-Jakob 病の一例
特定医療法人大阪精神医学研究所新阿武山病院 太田 宗寛
- 172 Sporadic CJD with codon 129 valine homozygosity and cerebellar peduncle lesions
防衛医科大学校病院 西田 隆
- 173 当施設におけるプリオン病 100 剖検例の検討
愛知医科大学加齢医科学研究所神経病理部門 岩崎 靖

<認知症全般（疫学，リスクなど）>

- 174 高齢者の昼寝時間と抑うつに関連する認知機能の特徴：中島町研究
金沢大学大学院脳老化・神経病態学（神経内科学） 阿部智絵美
- 175 認知症と骨粗鬆症の関連性についての検討
医療法人厚生会道ノ尾病院 芹田 巧

- 176 認知症患者におけるサルコペニア，フレイル合併の頻度
社会医療法人平成記念病院神経内科 降矢 芳子
- 177 地域高齢者における認知機能と趣味および仕事との関連の性差の検討：中島町研究
金沢大学大学院脳老化・神経病態学（神経内科学） 堀本 真以
- 178 残存歯数に関連する食事パターンと認知機能：中島町研究
金沢大学大学院医薬保健研究域医学系顎顔面口腔外科学 石宮 舞
- 179 外来認知症患者における認知機能と骨密度の関連についての検討
独立行政法人国立病院機構北陸病院心理療法室 小林 信周
- 180 腸内フローラは認知症の独立した関連因子でオッズ比も高い
国立長寿医療研究センターもの忘れセンター 佐治 直樹
- 181 社会的孤立と認知機能の関連の検討
名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学老年科学 梅垣 宏行
- 182 初発ラクナ梗塞患者における baPWV，頭部 MRI 所見と認知機能の関連の検討
翠清会梶川病院臨床検査部 西野真佐美
- 183 地域住民における大脳白質病変の縦断的検討
鳥取大学脳神経内科 山本 幹枝
- 184 後期高齢者の高 HDL 血症は記憶機能と島皮質・前頭弁蓋部の脳回構造の維持に関連する
昭和大学藤が丘病院脳神経内科 金野 竜太
- 185 もの忘れの自覚の強さと将来の認知症発症リスク増加との関連：中島町研究
金沢大学医薬保健研究域医学系脳老化・神経病態学 柚木 颯偲
- 186 地域在住高齢者の認知症予防に対する意識—主観的認知障害有無別の検討—
星城大学リハビリテーション学部 牧野多恵子
- 187 認知機能低下と入院期間関連因子の検討
東京大学医学部附属病院老年病科 岩田 裕子
- 188 認知症高齢者の臨時適性検査における探索眼球運動の有用性
久留米大学高次脳疾患研究所 小路 純央
- 189 脳神経内科における「物忘れ外来」の現状
済生会松山病院脳神経内科 矢部 勇人
- 190 認知症回診により把握できた入院前認知症診断の現状
北播磨総合医療センターリハビリテーション科 細見 雅史
- 191 知的障害者における認知症の有病率
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学 竹之下慎太郎
- 192 認知症臨床ゲノム情報データベース構築に関する開発研究
新潟大脳研究所 池内 健
- 193 血管危険因子と脳内アミロイド蓄積および脳糖代謝の関連
大分大学医学部神経内科学講座 中道 淳仁
- 194 認知症スクリーニング Cognitive Function Instrument（CFI）の本邦での使用経験
山形大学医学部内科学第三講座 伊関 千書

＜認知症を来すその他の変性疾患＞

- 195 認知機能低下を呈し、家族性特発性基底核石灰化症が疑われた姉妹剖検例
名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野 平野 光彬
- 196 Mild cognitive impairment を呈した大脳基底核石灰化症と考えられた 1 例
鶴川サナトリウム病院老年内科・神経内科 佐藤 健治
- 197 急速に進行した孤発性成人型神経核内封入体病の 1 例
国家公務員共済組合連合会三宿病院神経内科 平山 剛久
- 198 成人発症の神経核内封入体病自験例 14 例の臨床的検討
前橋赤十字病院神経内科 針谷 康夫
- 199 書字の誤りを呈する筋萎縮性側索硬化症～臨床像についての比較検討～
千葉大学医学部附属病院脳神経内科 櫻井 透
- 200 筋萎縮性側索硬化症の脳萎縮様式の多様性と認知機能の関係性
名古屋大学神経内科 加藤 隼康
- 201 多系統萎縮症における認知症関連・脳脊髄液バイオマーカーの検討
新潟大学脳研究所神経内科 徳武 孝允
- 202 進行性核上性麻痺における tau 病理の左右差と自殺との関係
兵庫県立姫路循環器病センター神経内科 吉田 幸司
- 203 Lewy 小体型認知症と臨床診断したが、Lewy 小体を欠き進行性核上性麻痺の病理を示す 3 例
新渡戸記念中野総合病院神経内科 融 衆太
- 204 糖尿病性認知症の定量的アミロイド/タウ PET 信頼パターンの検討
東京医科大学高齢総合医学分野 竹野下尚仁
- 205 (かつて Dementia praecox とよばれていた) 統合失調症の経過での認知症症状の背景病理
もりやま総合心療病院精神科 三輪 綾子
- 206 嗜銀顆粒性認知症を併発した統合失調症の一剖検例
もりやま総合心療病院精神科 鳥居 洋太
- 207 An 84-year-old female case of mixed dementia complicated with NPH
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター Yuki Asahara
- 208 特発性正常圧水頭症の病理学的考察
順天堂大学医学部脳神経外科学講座 中島 円
- 209 意識変容と左半側空間無視を呈した高齢発症 MELAS の一例
日本大学医学部附属板橋病院 石原 正樹

学術集会 2 日目 10 月 13 日 (土) 18 時 20 分～19 時 20 分

<アルツハイマー病 (画像)>

- 210 海馬萎縮の左右差が著明で嗜銀顆粒性認知症が疑われた症例の特徴
昭和大学内科学講座脳神経内科学部門 矢野 怜
- 211 軽度認知障害における大脳白質病変容積と脳機能との関連
東京医科大学高齢総合医学分野 平尾健太郎
- 212 皮質脳表ヘモジデリン沈着を呈するアルツハイマー病にみられる脳微小出血の臨床的検討
群馬大学大学院医学系研究科脳神経内科学 池田 将樹
- 213 MRI 画像に対する Deep Learning 適用と予後予測
島根大学医学部内科学講座内科学第三 山口 修平
- 214 深層学習による認知症脳血流 SPECT 画像の分類
(公財) 結核予防会複十字病院認知症疾患医療センター 飯塚 友道
- 215 The effect of aging on the CBF by 123I-IMP SPECT in normal subjects and AD
長崎北病院神経内科 瀬戸 牧子
- 216 アルツハイマー型認知症と健忘型軽度認知障害の SPECT での cingulate island sign の検討
富永病院脳神経内科 孝橋 睦生
- 217 ^{18}F -PM-PBB3 PET は多様なタウオパチー疾患を視覚評価で弁別可能である
量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所脳機能イメージング研究部 互 健二
- 218 脳内アミロイド蓄積と認知機能・脳萎縮・脳糖代謝の関連
大分大学医学部神経内科学講座 木村 成志
- 219 ^{18}F -AV45 による脳アミロイド PET を施行した amnesic MCI, AD 群の長期経過の検討
岩手医科大学内科学講座神経内科・老年科分野 佐藤 光信
- 220 AD continuum における THK-5351 の集積と脳萎縮との関連の検討
国立長寿医療研究センター 岩田 香織
- 221 加齢に伴う健常者の THK5351 PET の所見変化
名古屋大学医学部神経内科 横井 孝政
- 222 PiB-PET の皮質平均集積度の縦断的变化に関する検討
国立長寿医療研究センター脳機能画像診断開発部 中島 和敬
- 223 PiB PET の境界的な集積に対応する皮質平均 SUVR のカットオフ値の検討
藤田保健衛生大学 岡田 佑介
- 224 認知症診断におけるアミロイド-PADRE および PiB の整合性の初期検討
東北大学加齢医学研究所機能画像医学研究分野 戸恒 智子

<アルツハイマー病 (治療, 予防, 治験)>

- 225 河内晩柑果皮含有オーラブテンによる記憶機能低下の予防効果
愛媛大学医学部老年・神経・総合診療内科学 大八木保政
- 226 デュラグルチドによる認知機能改善の可能性— Incretin's Neuroprotective Effect —
医療法人恵風会高岡病院 清水 勇雄

- 227 血中ドネペジル濃度上昇による徐脈が疑われた症例
香川大学医学部附属病院薬剤部 山口佳津騎
- 228 ドネペジル服用中に易転倒とジスキネジアを突然発症した高齢混合型認知症のラクナ梗塞
社会医療法人寿会富永病院脳神経内科 柏谷 嘉宏
- 229 アルツハイマー型認知症に対するリバスチグミンパッチ国内第4相試験（続報）
ノバルティスファーマ株式会社メディカル本部 上田 兼吾
- 230 アルツハイマー病患者におけるメマンチン投与開始時期による効果への影響
川崎医科大学神経内科学 久徳 弓子
- 231 アルツハイマー型認知症患者に対するメマンチン投与の定量脳波学的検討
香川大学医学部精神神経医学講座 森 崇洋
- 232 認知症治療薬の服薬継続率と脳血流低下画像との関連性について
社会医療法人志聖会総合犬山中央病院脳神経外科 荒木 有三
- 233 コリンエステラーゼ阻害剤変更によるアルツハイマー病患者への治療効果
岡山大学大学院脳神経内科学 太田 康之
- 234 アルツハイマー型認知症治療薬の併用療法の効果；51例3年間での検討
順天堂大区医学部附属浦安病院脳神経内科 志村 秀樹
- 235 血中Aβ除去によるAlzheimer病治療をめざして 血液透析患者の老人斑の特徴
藤田医科大学（藤田保健衛生大学）医療科学部臨床工学科 酒井 一由
- 236 血中Aβ除去によるアルツハイマー病治療：腹膜透析と単純血漿交換のAβ除去について
大垣市民病院臨床工学技術科 川地 宏志
- 237 血中Aβ除去による脳脊髄液Aβ濃度低下にシロスタゾール投与はどう影響するか
藤田医科大学（藤田保健衛生大学）医療科学部臨床工学科 川口 和紀
- 238 Safety and pharmacokinetics of crenezumab in Mild-to-Moderate AD patients
Genentech, Inc. Helen Lin
- 239 Phase I Clinical Study of Crenezumab in Japanese Patients with AD
中外製薬株式会社 高野 泰樹
- <アルツハイマー病（臨床症候）>
- 240 Logopenic progressive aphasia が疑われる1例
富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学教室 木戸 幹雄
- 241 バウムテストで絵ではなく漢字を描出してしまう Chinese letter 現象に関する予備的研究
順天堂東京江東高齢者医療センターメンタルクリニック 笠貫 浩史
- 242 Pisa syndrome induced by switching donepezil to galantamine
足利赤十字病院神経精神科 三村 悠
- 243 アルツハイマー病におけるサルコペニアと四肢の筋量、筋力変化—重症度別による比較
東京医科大学病院高齢診療科 小川 裕介
- 244 認知症疾患にみられる振り返り徴候について
和歌山ろうさい病院脳神経内科 梶本 賀義

- 245 物忘れで発症した高齢者の2年後予後
名古屋第二赤十字病院神経内科 安井 敬三
- 246 日本人の preclinical AD の臨床的特徴
東京大学大学院医学系研究科認知症先進予防治療学 井原 涼子
- 247 アルツハイマー型認知症の嗅覚検査による診断／早期発見の試み
久留米大学高次脳疾患研究所 森田喜一郎
- 248 アルツハイマー型認知症の早期診断のための臨床的バイオマーカーの検索
国家公務員共済組合連合会虎の門病院高齢者総合診療部/認知症科 井桁 之総
- 249 神経変性疾患における嗅覚検査の意義
社会医療法人春回会長崎北病院総合リハビリテーション部 藤樫 舞子
- 250 初老期アルツハイマー型認知症の視空間認知障害は何で評価すべきか？
JCHO 東京高輪病院神経内科 津本 学
- 251 ABC 認知症スケールによる認知症治療薬変更後の反応性の検討
鳥取大学脳神経内科 和田 健二
- 252 アルツハイマー病においてコリンエステラーゼ阻害薬により改善する MMSE の下位項目
慶應義塾大学医学部神経内科 吉崎 崇仁
- 253 FCSRT 日本語版の開発
滋賀医科大学神経難病研究センター MR 医学研究部門 椎野 顯彦

<レビー小体型認知症（治療、予防、治験）>

- 254 DLB 患者の運動障害に対するゾニサミドの有効性及び安全性の検討（長期投与試験）
横浜市立大学保健管理センター 小田原俊成
- 255 DLB の各運動症状に対するゾニサミドの効果：第2相・第3相試験のプール解析
大日本住友製薬株式会社メディカルアフェアーズ部 丸山 秀徳
- 256 レビー小体型認知症に伴うパーキンソニズムへの治療介入に関する実態調査
神奈川歯科大学認知症・高齢者総合内科 眞鍋 雄太
- 257 レビー小体型認知症の運動症状に対するレボドパ 50-100 mg 少量治療の有効性について
まつい栄養&認知症クリニック 松井 豊
- 258 Noise Pareidolia Test はレビー小体型認知症へのドネペジルの効果を予測するか
済生会横浜市東部病院脳血管・神経内科 伊達 悠岳
- 259 レビー小体型認知症における修正型電気れいれん療法の有効性
砂川市立病院精神科 石田 智隆

<レビー小体型認知症（臨床症候）>

- 260 失神で発症したレビー小体型認知症の1例－Pure Autonomic Failure with Lewy bodies
総合上飯田第一病院 鶴飼 克行
- 261 トラマドール配合錠により幻覚、妄想が出現したレビー小体病の2症例
川崎医科大学精神科学教室 田中 賀大

- 262 音楽性幻聴を呈したレビー小体型認知症の2症例の検討
国家公務員共済組合連合会三宿病院神経内科 清塚 鉄人
- 263 偶発的 REM sleep without atonia を示す高齢発症の精神疾患の臨床的特徴について
名古屋大学大学院精神医学分野 藤城 弘樹
- 264 複数回施行したノイズ・パレイドリアテストの検討
老年病研究所附属病院神経内科 梶原 剛
- 265 認知症の無いパーキンソン病における視覚認知特徴と臨床像：VOSPでの検討
名古屋大学脳とこころの研究センター 大嶽れい子
- 266 老年期うつ病評価尺度（GDS）を用いた初期パーキンソン病におけるうつと運動症状の検討
昭和大学横浜市北部病院内科 石垣征一郎
- 267 パーキンソン病における表情認知機能検査の検討
新宮市立医療センター神経内科 檜皮谷泰寛

<血管性認知症>

- 268 亜急性進行性に認知機能低下を示した脳アミロイドアンギオパチー関連白質脳症の1症例
一般社団法人至誠会第二病院神経内科 久保 昌史
- 269 病理学的に同定した進行性の白質病変を認めた脳アミロイドβ関連血管炎の2症例
新潟大学脳研究所神経内科 北原 匠
- 270 心房細動アブレーション治療における画像所見と認知機能の変化
三重大学大学院神経病態内科学 加藤奈津子
- 271 血管性認知症患者におけるFABの有用性について
新潟県立中央病院神経内科 手塚 敏之
- 272 3T MRIによる皮質小梗塞の検出と成因の考察
三重大学脳神経内科 石川 英洋
- 273 血管性認知症にアルコール依存症が合併していた1例
香川大学医学部附属病院精神神経医学講座 角友 佑豪
- 274 脳梗塞後認知機能障害の予測ツールとしてのCHADS2スコアとR2CHADS2スコア
国立循環器病研究センター脳神経内科 鷺田 和夫
- 275 脳卒中急性期認知機能障害に対しての免荷式リフトの使用効果
錦秀会阪和記念病院脳神経外科 小山 隆

<認知症全般（治療，予防，治験）>

- 276 MCIに対する抑肝散加陳皮半夏の認知機能に対する効果について2年から3年経過例の検討
まつもと脳神経・内科クリニック 松本 正人
- 277 認知症ケアチームへの薬剤師参画の有用性～メマンチンの適正使用における貢献～
大垣市民病院薬剤部 森 光輝
- 278 十全大補湯内服後に食欲が改善した認知症患者の1例
東京都済生会中央病院総合診療内科 小池 宙

- 279 Yokukansan for BPSD : Meta-Analysis of Randomized Controlled Trials
藤田保健衛生大学医学部認知症・高齢診療科 松永 慎史
- 280 やせ型糖尿病を特徴とする認知症患者に対する人參養榮湯とフレイルの栄養学的検討
まつい栄養 & 認知症クリニック 松井 育子
- 281 認知症の行動心理症状に対するアリピプラゾール液剤の有効性および安全性の検討
医療法人社団旭川圭泉会病院 森川 文淑
- 282 超高水圧加圧玄米の24ヶ月間摂取が高齢者の認知機能・情動に及ぼす影響－ヒト介入試験
島根大学医学部環境生理学 橋本 道男
- 283 著名な頻尿に対して適切な飲水指導が有効であった認知症の一例
国際医療福祉大学医学部神経内科／市川病院神経内科 内山 智之
- 284 当院での軽度認知機能障害患者に対する認知症予防体操（コグニサイズ）の効果
NTT 西日本大阪病院心療内科・精神科 梅田寿美代
- 285 認知低下を有する患者に対するグループエクササイズの効果
社会医療法人明和会中通リハビリテーション病院リハビリテーション部理学療法室 岡村 遥菜
- 286 認知機能が低下した人の刺繍作業における誤りの特徴と適切な援助方法の検討（第二報）
国立研究開発法人国立長寿医療研究センターリハビリテーション科部 村松隆二郎
- 287 認知症疾患医療センターでの特発性正常圧水頭症の診療
総合病院国保旭中央病院初期研修医 下濱 祥
- 288 フレイル、プレフレイル患者における認知症併存と予後
公益財団法人脳血管研究所美原記念病院認知症疾患医療センター 神澤 孝夫
- 289 回想機能を持った傾聴ロボットの開発と実証
国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 近藤 和泉
- 290 佐渡市における和太鼓を用いた認知症予防事業：認知機能トレーニングとの比較
新潟大学脳研究所遺伝子機能解析学分野 三浦 健
- 291 運動プログラムの定期的実施による認知機能および関連パラメータ変化に関する観察研究
東京大学大学院薬学系研究科機能病態学教室 富田 泰輔
- 292 MCIを含む健康高齢者に対する市と連携した生活習慣改善教室の有効性について
医療法人雄仁会加藤病院 加藤 隆郎
- 293 健常高齢者の介入前の前頭葉機能と前頭葉容積は体操の効果の予測因子となりうる
三重大学大学院医学系研究科認知症医療学 田部井賢一
- 294 長期的な身体活動と大脳皮質下病変との関連
国立長寿医療研究センター老年内科 大釜 典子
- 295 中高年層を対象とした抹茶継続摂取における認知機能改善効果の検討
株式会社伊藤園中央研究所 馬場 吉武
- 296 臨床研究に関わる神経心理検査評価者への教育
国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 倉坪 和泉
- 297 Safety and Tolerability of Gantenerumab High-dose Open Label Extension Study
F. Hoffmann-La Roche Ltd Danielle Abi-Saab
- 298 Amyloid Pet Results of Gantenerumab High-dose Open Label Extension Studies
Roche Pharma Research and Early Development Gregory Klein

<認知症全般（臨床症候，BPSD）>

- 299 認知症患者に対するラメルテオン投与での睡眠導入剤の減量効果と転倒予防効果
長崎大学・院・運動障害リハビリテーション分野 佐藤 克也
- 300 入浴指導により便秘が改善され減薬が可能となったアルツハイマー型認知症の1例
医療法人大誠会内田病院 井上 宏貴
- 301 アルツハイマー型認知症女性患者の嫉妬妄想にメマンチンが有効であった一例
大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学 丸田 純平
- 302 低フェリチンであった貧血のない鉄欠乏症の高齢者における BPSD に対する鉄剤の有用性
医療法人山口病院（川越） 奥平 智之
- 303 認知症を疑われ当院物忘れ外来を受診した ADHD の症例について
医療法人社団宝樹会小豆島病院 大城 智睦
- 304 双極性障害に合併した認知機能障害が後に薬剤性と判明し ADL が回復した一例
一般財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院 須佐 由子
- 305 低マンガン血症認知症患者における淡蒼球マンガン濃度
宇部リハビリテーション病院 沖野 基規
- 306 認知症患者の睡眠障害に関して一アクチグラフを用いた研究—
東京医科大学八王子医療センター高齢診療科 金谷 潔史
- 307 認知機能障害を有する患者における IADL の評価・解析
京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 下坂 桃代
- 308 DBD スケールと認知機能の関連の検討
一般社団法人巨樹の会新久喜総合病院 石井 美咲
- 309 サービスを拒否する認知症患者へのパーソナリティ障害の診断基準を用いた心理学的分析
日本鋼管病院神経内科 吉井 康裕
- 310 介護保険主治医意見書に基づく「認知症困りごと評価尺度-質問票」（BPSD+Q）の開発
社会福祉法人浴風会認知症介護研究・研修東京センター 藤生 大我
- 311 認知症の行動・心理症状（BPSD）と脳血流の関連
公益財団法人鹿島病院精神科 関根 彩

<認知症全般（早期診断，MCI）>

- 312 認知症患者における嗅覚障害の研究（第2報）～病型タイプから見た考察～
日本大学薬学部 泉澤 恵
- 313 HDS-R と MOCA-J を用いた MCI の判別
岡山赤十字病院リハビリテーション科 安藤 研介
- 314 Cognitive Performance of the User eXperience-Trail Making Test (UX-TMT)
湘南慶育病院 小久保奈緒美
- 315 地域健診における軽度認知障害スクリーニング検査（続報）
弘前大学医学部附属病院医療技術部 中畑 直子
- 316 オンラインデータベースに登録された認知機能健常者における MCI の危険因子について
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 小川 雅代

- 317 MMSE, MoCA-J を用いて検出した糖尿病患者における早期認知障害 (MCI) の特徴
市立芦屋病院 片岡 政子
- 318 高齢者関節リウマチにおける軽度認知障害の検討
大阪体育大学体育学部健康・スポーツマネジメント学科 前島 悦子
- 319 軽度 AD 患者の生活行為障害の特徴と AD-ADL 評価表の実用性に関する考察
大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室 堀田 牧
- 320 高精度視線検出技術による注視点データ解析に基づいた定量的認知機能評価法の確立
大阪大学大学院医学系研究科老年・総合内科学 大山 茜
- 321 熊本地震後の MCI スクリーニング血液検査陽性率上昇について
武蔵ヶ丘病院 佐藤 正
- 322 もの忘れ外来患者における注意機能検査 (新ストループ検査) の指標と脳萎縮との関連
茨城県立中央病院看護局 渡辺めぐみ
- 323 MMSE の遅延再生と海馬傍回萎縮の関係について
金沢医科大学病院認知症センター 奥野太寿生
- 324 安静時機能的 MRI 検査の使用経験 = default mode net work の検討 =
医療法人和昌会貞本病院脳神経外科 松原 一郎
- 325 血清 NMR データを用いた新たなアルツハイマー病診断法の開発
日本医科大学千葉北総病院神経内科 山崎 峰雄
- 326 心理検査と脳画像データによる AD と DLB の鑑別の研究
福岡大学医学部神経内科学教室 山口裕美子
- 327 MCI の早期診断補助のための後期高齢者用 ECD-SPECT データベース作成とその有用性の検討
医療法人社団大和会平成扇病院 三ツ間小百合

<てんかん>

- 328 レビー小体型認知症の診断基準を満たすが、高齢てんかんだった 1 例
東邦大学医療センター大森病院神経内科 高澤 隆紀
- 329 認知症、特発性正常圧水頭症を疑われ診断に苦慮したてんかん発作の一例
社会医療法人協和会北大阪病院脳神経外科 安田 守孝
- 330 抗てんかん薬投与後に重複記憶錯誤が改善した軽度認知障害の一例
横浜市総合保健医療センター精神科 塩崎 一昌
- 331 急性発症の失語症を呈し、症状軽減に数ヶ月間を要した非痙攣性てんかん重積の 2 例
兵庫県立姫路循環器病センター神経内科 喜多也寸志
- 332 入院を要した高齢者てんかんに関する検討—認知症との関連について—
京都認知症総合センター 川崎 照晃
- 333 高齢者てんかんの 3 テスラ MRI によるアルツハイマー病と生活習慣病のリスク検討
まつい栄養 & 認知症クリニック 松井 豊

<認知症に関連したその他の疾患>

- 334 硬膜動静脈瘻により、急激な認知機能障害とパーキンソニズムを呈した 67 歳男性の一例
日産厚生会玉川病院リハビリテーション科 日熊 麻耶
- 335 ジアゼパム長期内服により認知機能低下を来した一例
市立函館病院脳神経外科 大坂 美鈴
- 336 筋強直性ジストロフィー 1 型における脳体積減少と脳血流の相関についての検討
岡山赤十字病院神経内科 武久 康
- 337 慢性硬膜下血腫に対する漢方薬の有効性；再発と予後に関する検証
仙台東脳神経外科病院 山本 修三
- 338 Wernicke 脳症急性期における 99mTc-ECD 脳血流 SPECT 所見の検討
大分大学医学部神経内科学講座 麻生 泰弘
- 339 糖尿病性認知症と Alzheimer 病における筋力・筋質の比較検討
東京医科大学高齢総合医学分野 都河 明人

<認知症全般（地域連携）>

- 340 離島における認知症支援体制；三宅村での支援体制づくりのあゆみ
東京都健康長寿医療センター 今村 陽子
- 341 離島における認知症支援体制；離島が抱える課題と体制づくりを促す方法の検討
東京都健康長寿医療センター 宮前 史子
- 342 離島における認知症支援体制：神津島の多職種連携と課題
東京都健康長寿医療センター精神科 扇澤 史子
- 343 訪問診療における認知症の関わり
永生クリニック 山根 冠児
- 344 認知症研修認定薬剤師制度の研修総括と新たな研究への取り組み
(株) アインホールディングス 土居由有子
- 345 認知症サポート医の研修受講及び活動実態に関する調査
国立長寿医療研究センター 武田 章敬
- 346 地域における産官学民協働の認知症カフェの取り組みと今後の課題
薬樹株式会社 土志田敏伸
- 347 大阪市におけるスマートフォンアプリを用いた認知症サポーター活用の試み
大阪市福祉局高齢者施策部 金田 大太
- 348 認知症センターにおけるソーシャルワーカー介入を必要とした患者特性と支援内容の検討
金沢医科大学病院認知症センター 濱 大輔
- 349 京都認知症総合センターにおける認知症診療と患者・家族支援－他職種連携の視点から
京都認知症総合センタークリニック 柿本明日香
- 350 「新・京都式オレンジプラン」での当事者視点の浸透と地域連携体制の構築
京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学 西村 幸秀
- 351 福島市全包括めぐりの楽しさと効能—やっぱり face to face が大事でしょ！—
むつみ脳神経・耳鼻科クリニック（福島市オレンジプラン進行管理委員） 渡邊多佳子

- 352 認知症疾患医療センターを臨時適性検査で受診する高齢者の特徴
大阪市立弘済院附属病院認知症疾患医療センター 河原田洋次郎
- 353 認知症疾患医療センターにおける認知症サポートチームの活動
旭神経内科リハビリテーション病院千葉県認知症疾患医療センター 旭 俊臣
- 354 京都市西京区における認知症初期集中支援モデル事業の活動内容と課題
清仁会洛西シミズ病院神経内科 河本 恭裕
- 355 認知症疾患医療センター外来は治験・臨床研究の参加者募集に有用である
国立精神・神経医療研究センター病院認知症疾患医療センター 塚本 忠
- 356 認知症疾患医療センター主導の認知症初期集中支援チームの特性
東京都済生会中央病院認知症疾患医療センター 荒川 千晶
- 357 長崎市における認知症初期集中支援チームの現状と課題について
医療法人昌生会出口病院認知症疾患医療センター 出口 之
- 358 東京都認知症支援推進センターの役割
東京都健康長寿医療センター精神科 古田 光
- 359 大阪市における若年性認知症の人への支援～認知症地域支援推進員の活動から～
大阪市福祉局高齢者施策部 中西 亜紀
- 360 大阪市認知症初期集中支援推進事業からの報告 第2報 ～4年間2,593例の支援から～
大阪市福祉局高齢者施策部 多田 和代
- 361 福岡市認知症疾患医療センター指定後3年5か月間の現状
福岡大学病院精神神経科 梅田恵利子
- 362 認知症サポートチームでのMSWによるEAスクリーニングの試み
トヨタ記念病院 河合 由美
- 363 川西市における認知症患者の問題行動について
大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室 吉山 顕次

<認知症全般（介護）>

- 364 認知症高齢者の家族が抱える介護場面での困りごと：文献レビューと面接調査から
福山大学人間文化学部 筒井明日香
- 365 認知症介護にかかわる家族の精神的健康と日常の回想との関連
帝塚山大学心理学部心理学科 奥村由美子
- 366 認知症のある高齢者を介護する家族に対する「オンライン介護者カウンセリング」の試み
かわしま神経内科クリニック 宮下公美子
- 367 認知症家族に対する介護者教育の効果はいつまで持続するか
東京医科大学高齢総合医学分野 櫻井 博文
- 368 認知症夫婦入院の有りかた
医療法人社団葛野会木野崎病院 北尾 淑恵
- 369 認知症を伴う筋萎縮性側索硬化症患者のレスパイト入院
微風会ビハーラ花の里病院神経内科 織田 雅也

<認知症全般（社会医学，認知症と運転）>

- 370 認知症ドライバーの早期発見
青森大学薬学部薬学科 大上 哲也
- 371 ドライビングシミュレーターを用いた認知症患者の自動車運転特性解析と中止指導
藤田保健衛生大学七栗記念病院内科 脇田 英明
- 372 高齢者にとって自動車運転は何なのか？～認知症センター初診患者からわかること～
金沢医科大学高齢医学 入谷 敦
- 373 当院認知症疾患医療センター受診者の運転状況の解析
総合リハビリテーションセンター・みどり病院神経内科 矢島 隆二
- 374 一般内科医による運転免許に係る認知症診断の現状
富山西総合病院 石橋 修
- 375 改正道路交通法施行後の自動車免許更新に対する相談についての当院での取り組み
獨協医科大学日光医療センター神経内科 渡邊 由佳
- 376 当院における認知症高齢者の運転免許に関する診断書作成の取り組み
伊万里有田共立病院脳神経外科 田中 達也
- 377 千葉県香取海匝地区での公安委員会提出用診断書作成の現状
総合病院国保旭中央病院認知症疾患医療センター 持田 英俊

<認知症全般（高齢者医療，その他）>

- 378 演題取り下げ
- 379 演題取り下げ
- 380 急性期病院における院内デイケアの効果
社会医療法人生長会ベルランド総合病院 石川 智子
- 381 がん患者の認知機能評価の重要性
和歌山県立医科大学附属病院緩和ケアセンター 大沢 恭子
- 382 大腿骨近位部骨折術後リハビリテーションと認知障害の関連性
金田病院 吉鷹 輝仁
- 383 介護老人保健施設入所中の認知症高齢者に対する習慣的な活動のための介入の効果
医療法人仁泉会介護老人保健施設ハートランド 小笠原 牧
- 384 本人らしさを重視したリハ介入により BPSD 軽減及び ADL 改善に至った一例
医療法人社団豊生会東苗穂病院リハビリテーション部 鹿内 風花
- 385 “もの忘れ外来”患者の通院中断に関わる因子
岡山大学病院脳神経内科 菱川 望
- 386 CDR と DASC-21 を同時に評価することで認知症の状態像の把握が効率的に行える
藤田保健衛生大学病院リハビリテーション部 西田 咲紀
- 387 DASC-21 で捉えた自己評価と他者評価の特徴～AD 群 MCI 群健常群の比較～
川崎医科大学附属病院認知症疾患医療センター 吉武 亜紀

- 388 認知症患者の不安感の質的分析
杏林大学医学部高齢医学教室 山田 如子
- 389 高齢者の社会ネットワークと認知機能との関連における抑うつへの媒介効果：中島町研究
金沢大学医薬保健研究域医学系脳老化・神経病態学（神経内科学） 森 彩香
- 390 当院における DBD と DBD13 の検討
新久喜総合病院リハビリテーション科 前田 竜也
- 391 フレイル高齢者の入院期間における認知機能変化
国立長寿医療研究センター神経内科部 新畑 豊
- 392 高齢者の総合評価に適した生活状況評価尺度の開発：インターネット調査による予備検討
東北大学加齢医学研究所脳科学研究部門老年医学分野（東北大学病院加齢・老年病科） 富田 尚希
- 393 認知症重症度と ADL の関連の予備的調査
健康科学大学健康科学部作業療法学科 中西 康祐
- 394 地域在住高齢者の認知機能低下を反映する要素の検討 —各種検査を用いて—
大阪河崎リハビリテーション大学リハビリテーション学部 高野珠栄子
- 395 急性期病院における看護師の認知症、せん妄に対する意識の調査
日本医科大学多摩永山病院 柴田 直秀
- 396 入院時に容易に入手できる情報からせん妄を予測する
名古屋大学医学部附属病院地域連携・患者相談センター 中嶋 宏貴
- 397 せん妄の個別的なケアと多職種連携の在り方
北海道済生会小樽病院看護部 岸本 悦子
- 398 認知症施設の誤嚥窒息事例の検討
滋賀医科大学医学部社会医学講座法医学部門 古川 智之
- 399 摂食嚥下障害を有する認知症高齢者の MSW 退院支援
杏林大学医学部付属病院患者支援センター 名古屋恵美子
- 400 認知症摂食嚥下障害と胆泥
杏林大学医学部高齢医学 海老原孝枝
- 401 重度認知症患者における胃管栄養の肺炎発症率に与える影響
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学 竹之下慎太郎
- 402 精神科病院の入院患者における経管栄養使用の有無による生存期間の違い
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学 林 聡
- 403 高齢者胃癌手術における術後経過の関連因子の検討
名古屋大学医学部附属病院老年内科 柳川まどか
- 404 全国の救急告示病院を対象とした認知症の人の身体疾患診療に関する調査
国立長寿医療研究センター 武田 章敬
- 405 レセプトデータを利用したケアに紐づけされていない認知症患者把握の取り組み
三重大学医学部神経病態内科学 水谷あかね
- 406 京都山城総合医療センターにおける認知症入院患者への取り組み
京都山城総合医療センター神経内科 大島 洋一
- 407 認知症ケアチームによる身体拘束状況の把握と介入—初年度の報告—
名古屋市立東部医療センター神経内科 山田健太郎

408 当院における認知症ケアチーム立ち上げにあたっての病棟意識調査

香川県立中央病院地域医療連携課 矢野 裕子

409 認知症対応力向上の取り組み～多職種の強みを生かすチーム体制づくり～

トヨタ記念病院 小幡 志津